



Cisco Web Security Appliance S195、S395、S695、および S695F ハードウェア設置ガイド

初版：2019年7月8日

最終更新：2021年7月19日

シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター

0120-092-255（フリーコール、携帯・PHS含む）

電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（www.cisco.com/jp/go/safety_warning/）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

THE SPECIFICATIONS AND INFORMATION REGARDING THE PRODUCTS IN THIS MANUAL ARE SUBJECT TO CHANGE WITHOUT NOTICE. ALL STATEMENTS, INFORMATION, AND RECOMMENDATIONS IN THIS MANUAL ARE BELIEVED TO BE ACCURATE BUT ARE PRESENTED WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED. USERS MUST TAKE FULL RESPONSIBILITY FOR THEIR APPLICATION OF ANY PRODUCTS.

THE SOFTWARE LICENSE AND LIMITED WARRANTY FOR THE ACCOMPANYING PRODUCT ARE SET FORTH IN THE INFORMATION PACKET THAT SHIPPED WITH THE PRODUCT AND ARE INCORPORATED HEREIN BY THIS REFERENCE. IF YOU ARE UNABLE TO LOCATE THE SOFTWARE LICENSE OR LIMITED WARRANTY, CONTACT YOUR CISCO REPRESENTATIVE FOR A COPY.

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

NOTWITHSTANDING ANY OTHER WARRANTY HEREIN, ALL DOCUMENT FILES AND SOFTWARE OF THESE SUPPLIERS ARE PROVIDED "AS IS" WITH ALL FAULTS. CISCO AND THE ABOVE-NAMED SUPPLIERS DISCLAIM ALL WARRANTIES, EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THOSE OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NON-INFRINGEMENT OR ARISING FROM A COURSE OF DEALING, USAGE, OR TRADE PRACTICE.

IN NO EVENT SHALL CISCO OR ITS SUPPLIERS BE LIABLE FOR ANY INDIRECT, SPECIAL, CONSEQUENTIAL, OR INCIDENTAL DAMAGES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, LOST PROFITS OR LOSS OR DAMAGE TO DATA ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THIS MANUAL, EVEN IF CISCO OR ITS SUPPLIERS HAVE BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

Any Internet Protocol (IP) addresses and phone numbers used in this document are not intended to be actual addresses and phone numbers. Any examples, command display output, network topology diagrams, and other figures included in the document are shown for illustrative purposes only. Any use of actual IP addresses or phone numbers in illustrative content is unintentional and coincidental.

All printed copies and duplicate soft copies of this document are considered uncontrolled. See the current online version for the latest version.

Cisco has more than 200 offices worldwide. Addresses and phone numbers are listed on the Cisco website at www.cisco.com/go/offices.

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: <https://www.cisco.com/c/en/us/about/legal/trademarks.html>. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1721R)

© 2019-2021 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.



目次

第 1 章

概要 1

- 機能 1
- パッケージの内容 4
- シリアル番号の場所 5
- 前面パネル 7
- 前面パネル LED 10
- 背面パネル 13
- 背面パネル LED 17
- 電源モジュール 18
- ハードウェア仕様 20
- 製品 ID 番号 20
- 電源コードの仕様 21

第 2 章

インストールの準備 29

- 設置に関する警告 29
- 安全に関する推奨事項 31
- 電気製品を扱う場合の注意 32
- 静電破壊の防止 32
- 設置場所の環境 33
- サイトの考慮事項 33
- 電源モジュールに関する考慮事項 33
- ラックの構成に関する考慮事項 34

第 3 章

シャーシのラックマウント 35

シャーシの開梱と確認 35
シャーシのラックマウント 36

第 4 章

メンテナンスとアップグレード 39
電源ボタンのシャットダウン 39
RPC の有効化 40
シャーシのリモートリセット 41
ロック型前面プレートの取り付けおよび取り外し 41
ドライブの取り外しと交換 43
電源装置の取り外しと交換 45



第 1 章

概要

- 機能 (1 ページ)
- パッケージの内容 (4 ページ)
- シリアル番号の場所 (5 ページ)
- 前面パネル (7 ページ)
- 前面パネル LED (10 ページ)
- 背面パネル (13 ページ)
- 背面パネル LED (17 ページ)
- 電源モジュール (18 ページ)
- ハードウェア仕様 (20 ページ)
- 製品 ID 番号 (20 ページ)
- 電源コードの仕様 (21 ページ)

機能

Cisco Web Security Appliances (WSA) S195、S395、S695、および S695F は、組織が Web トラフィックを保護および制御するのに役立ちます。

WSA S195、S395、S695、および S695F は、Cisco AsyncOS バージョン 11.8 以降をサポートしています。WSA セキュリティアプライアンスに関連付けられた現場交換可能な製品 ID (PID) のリストについては、製品 ID 番号 (20 ページ) を参照してください。

次の図は、Cisco Web Security Appliances を示しています。

図 1: Cisco Web セキュリティ S195 および S395



図 2: Cisco Web セキュリティ S695 および S695F



次の表に、WSA S195、S395、S695、および S695F の機能を示します。

表 1: WSA S195、S395、S695、および S695F の機能

機能	S195	S395	S695	S695F
フォームファクタ	1 RU		2 RU	
ラックマウント	標準の 48.3 cm (19 インチ) 4 ポスト EIA ラック			
エアフロー	前面から背面 コールドアイルからホットアイルへ			
引き出しアセットカード	シリアル番号を表示します			
アース用穴	デュアルホールアースラグ用ネジ穴 X 2 使用は任意です。サポートされている AC 電源には内部アースがあるため、シャーシのアース接続は不要です。			
ロック型前面プレート	オプション			
ユニット識別ボタン	前面パネル			
電源ボタン	背面パネル			
プロセッサ	2021 年 1 月より前：インテル Xeon 4110 X 1 2021 年 1 月以降：インテル Xeon 4210 X 1	2021 年 1 月より前：インテル Xeon 5118 X 1 2021 年 1 月以降：インテル Xeon 5218 X 1	2021 年 1 月より前：インテル Xeon 6126 X 2 2021 年 1 月以降：インテル Xeon 6226 X 2	
メモリ	16 GB RAM	32-GB RAM	64-GB RAM	

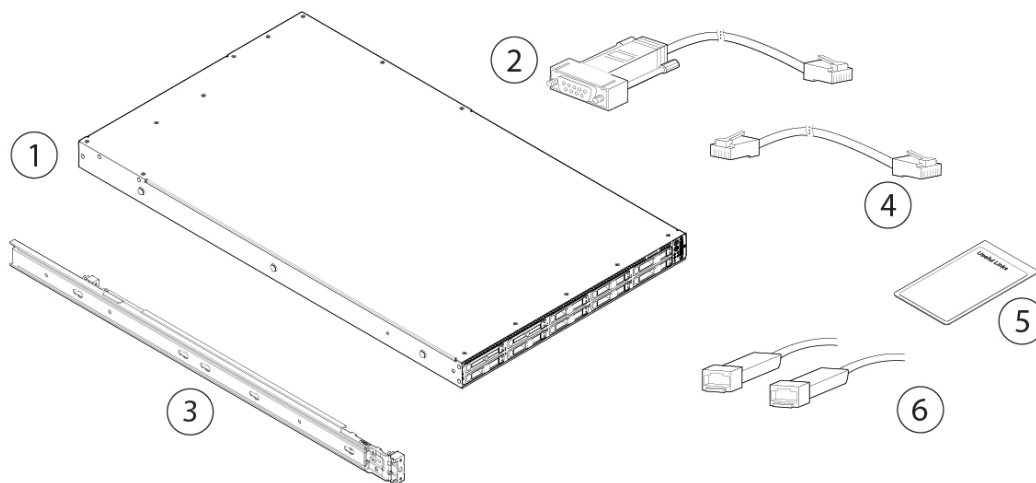
機能	S195	S395	S695	S695F
RDIMM 内部コンポーネントのみ (現場交換不可)	2021年1月より 前：16 GB DDR4-2400 MHz DIMM X 1 2021年1月以 降：16 GB DDR4-2933 MHz DIMM X 1	2021年1月より 前：16 GB DDR4-2400 MHz DIMM X 2 2021年1月以 降：16 GB DDR4-2933 MHz DIMM X 2	2021年1月より前：16 GB DDR4-2400 MHz DIMM X 4 2021年1月以降：16 GB DDR4-2933 MHz DIMM X 4	
管理ポート	1 (M1) M2 はサポートされていません。			
プロキシポート	2 (P1 および P2)			
トラフィックポート	2 (T1 および T2)			
リモート電源再投入 (RPC)	1 Gb の専用ポートを使用してアクセス			
USBポート	USB 3.0 タイプ A ポート X 2			
SFP+ ポート	なし			光ファイバ x 6
サポート対象の SFP+ (注) これらの SFP はシスコに よって認定さ れています。 シスコ認定の SFP のみを使 用してくださ い。 (注) 銅線 SFP はサ ポートされて いません。	—			GLX-SX-MMD (1 Gb) (オプ ション) SFP-10G-SR (10 Gb) (オプショ ン)
シリアルコンソールポー ト	1 GB RJ45 シリアルポート、RS-232 を実行 (RS-232D TIA-561) X 1			

機能	S195	S395	S695	S695F
AC 電源装置 (注) モデル間でタイプやワット数の異なる電源装置を組み合わせて使用しないでください。	1つ 770 W AC X 1 2台目の電源装置を注文して1+1の冗長構成を有効にできます。	2つ 770 W AC X 2 ホットスワップ可能で、1+1の冗長構成	2つ 1050 W AC ホットスワップ可能で、1+1の冗長構成	
ファン	ファン（前後冷却）X 6 内部コンポーネントのみ（現場交換不可）。1つのファンに障害が発生した場合は、返品許可（RMA）のためにシャーシを送る必要があります。			
ストレージ	600 GB SAS HDD X 2 RAID 1（ホットスワップ対応）	600 GB SAS HDD X 4 RAID 10（ホットスワップ対応）	600 GB SAS HDD X 16 RAID 10（ホットスワップ対応）	

パッケージの内容

次の図は、WSA S195、S395、S695、および S695F のパッケージの内容を示しています。内容は変更されることがあり、実際の内容には品目の追加や削減の可能性のあることにご注意ください。

図 3: パッケージの内容

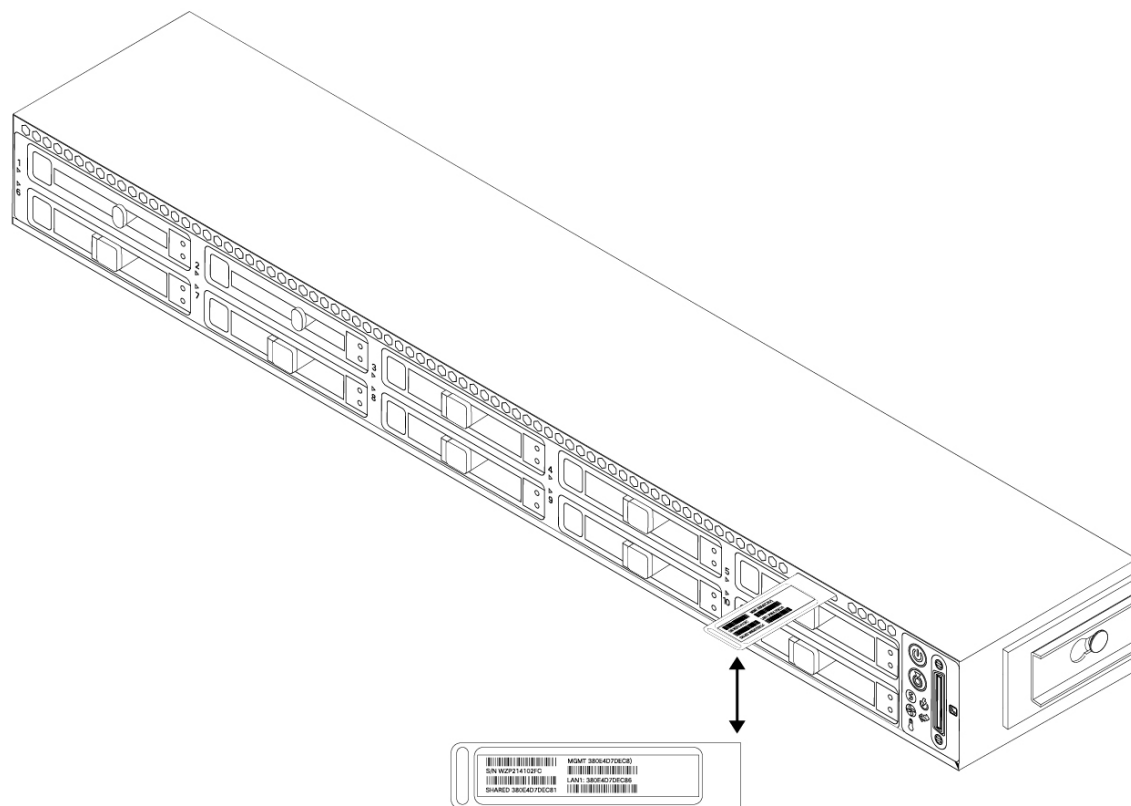


1	シャーシ	2	RJ-45 to DB9-RS232 コンソールケーブル (シスコ製品番号 72-3383-XX)
3	Cisco レールキット (シスコ製品番号 800-43376-02)	4	RJ-45 to RJ-45 Cat 5 イーサネットケーブ ル、黄色、長さ6フィート (シスコ製品番 号 72-1482-XX)
5	有用なリンクドキュメント 「有用なリンク」ドキュメントの手順で は、WSAアプライアンスのインストール、 セットアップ、および設定に必要なマニユ アルを送信します。	6	1 Gb または 10 Gb SFP+ 光ファイバトラン シーバ (ケーブル付き) x 2 (注) でサポートされています。S695F 同じシャーシ内に SFP トラン シーバタイプを混在させること はできません。同じシャーシ内 に 2 つの 1 Gb SFP または 10 Gb SFP を搭載できます。

シリアル番号の場所

WSA S195、S395、S695、および S695F のシリアル番号 (SN) は、次の図に示すように、前面パネルにある引き出しアセットカードに印刷されています。

図 4: 引き出しアセットカードのシリアル番号

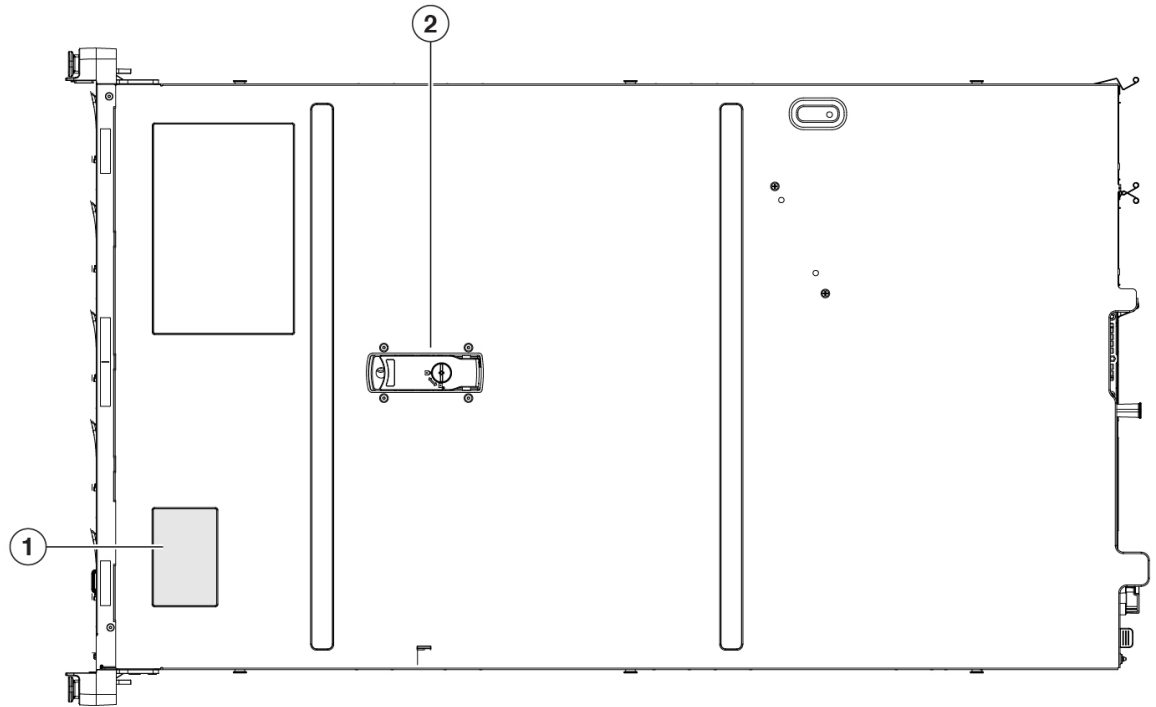


シリアル番号は、次の図に示すように、シャーシカバー上のラベルにも示されています。



注意 シャーシカバーの上部にあるカバー ラッチはサポートされていません。WSA S195、S395、S695、および S695F には内部の現場交換可能な部品はありません。

図 5: カバー上のシリアル番号の場所

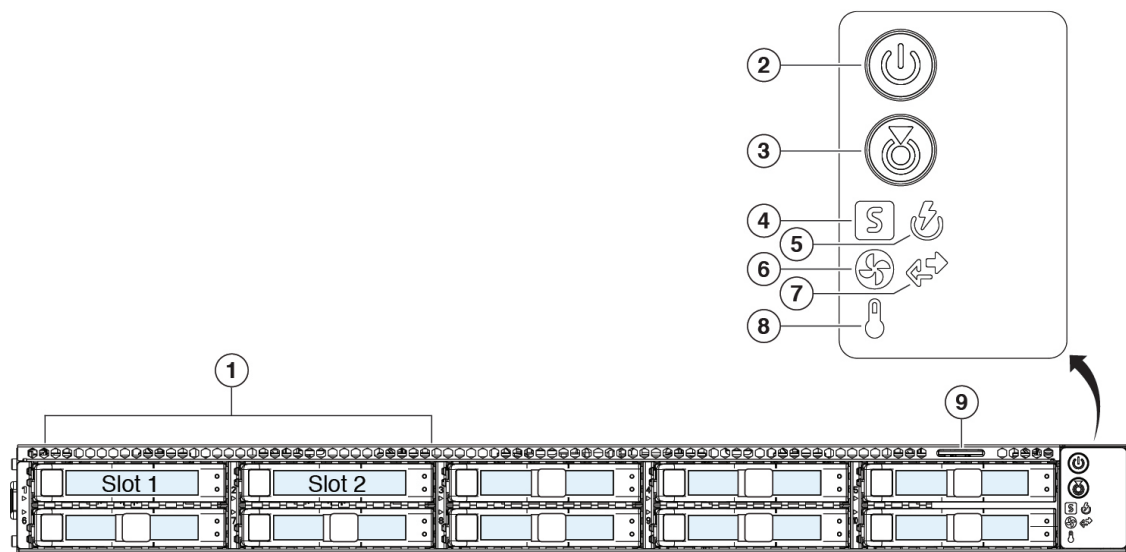


1 シリアル番号ラベル	2 カバーラッチ サポート対象外
-------------	---------------------

前面パネル

次の図は、WSA S195 の前面パネル機能とディスクドライブ構成を示しています。LED の説明については、[前面パネル LED \(10 ページ\)](#) を参照してください。

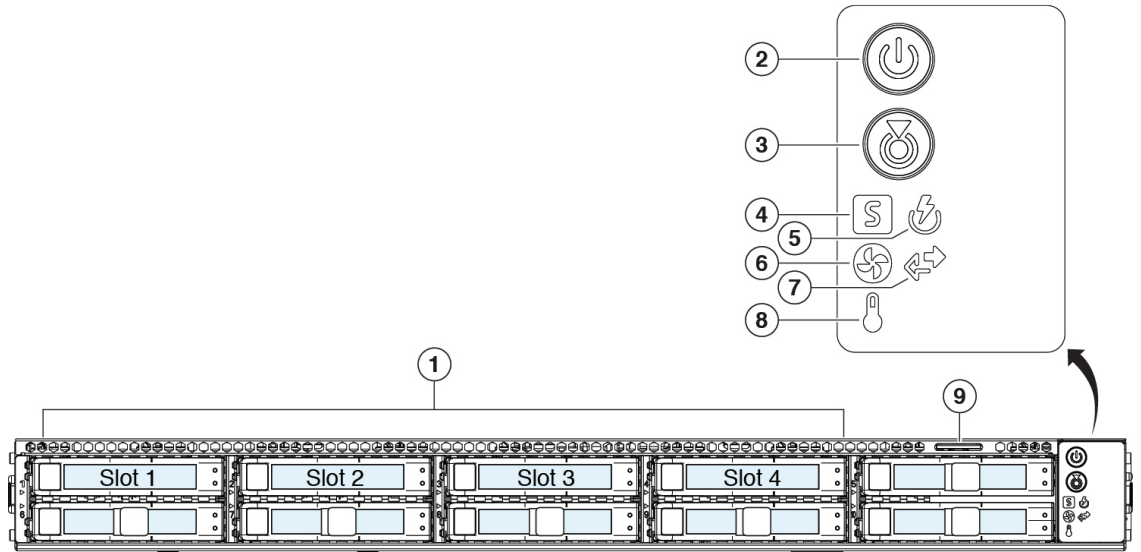
図 6: S195 の前面パネル



1	ドライブベイ スロット 1 および 2 で 2 台の 600 GB SAS HDD に対応	2	電源ボタン/電源ステータス LED
3	ユニット識別ボタン/LED	4	システムステータス LED
5	電源装置ステータス LED	6	ファンステータス LED
7	ネットワーク リンク アクティビティ LED	8	温度ステータス LED
9	引き出しアセットカード		—

次の図は、WSA S395 の前面パネル機能とディスクドライブ構成を示しています。LED の説明については、[前面パネル LED \(10 ページ\)](#) を参照してください。

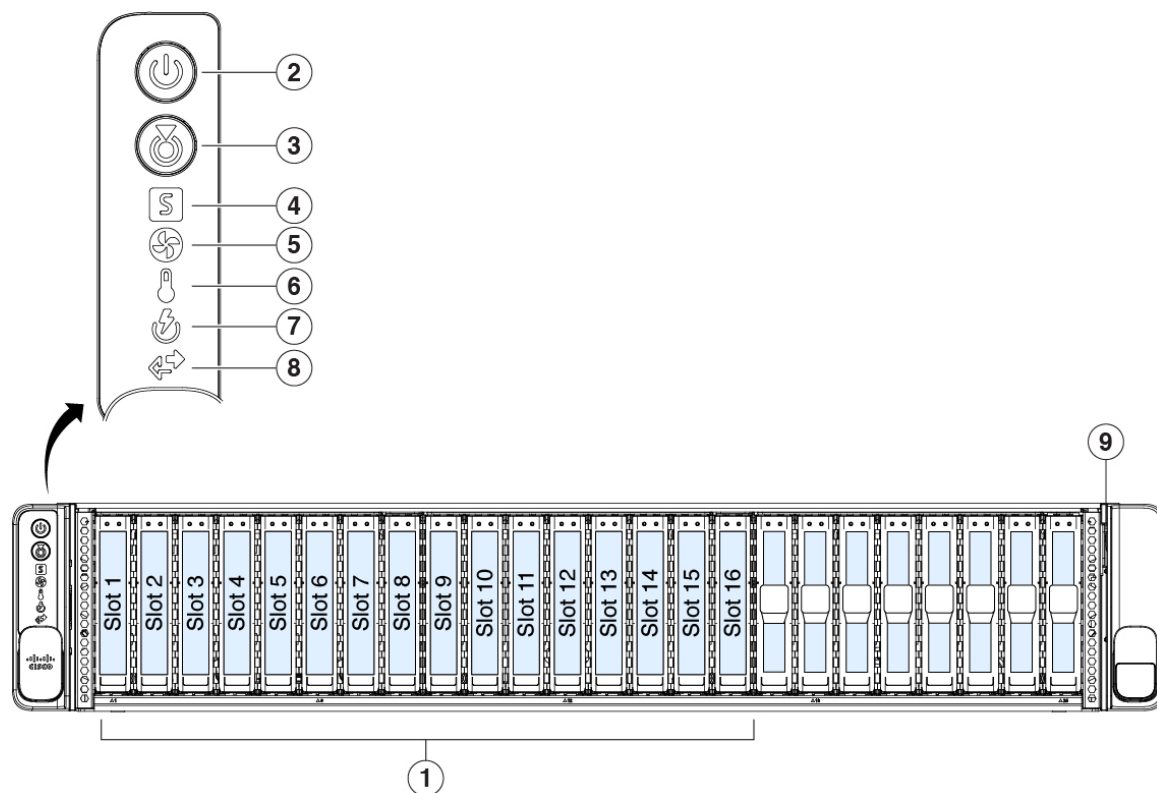
図 7: S395 の前面パネル



1 ドライブベイ スロット 1～4 で 4 台の 600 GB SAS HDD に対応	2 電源ボタン/電源ステータス LED
3 ユニット識別ボタン/LED	4 システムステータス LED
5 電源装置ステータス LED	6 ファンステータス LED
7 ネットワーク リンク アクティビティ LED	8 温度ステータス LED
9 引き出しアセットカード	—

次の図は、WSA S695 および S695F の前面パネル機能とディスクドライブ構成を示しています。LED の説明については、[前面パネル LED \(10 ページ\)](#) を参照してください。

図 8: S695 および S695F の前面パネル機能

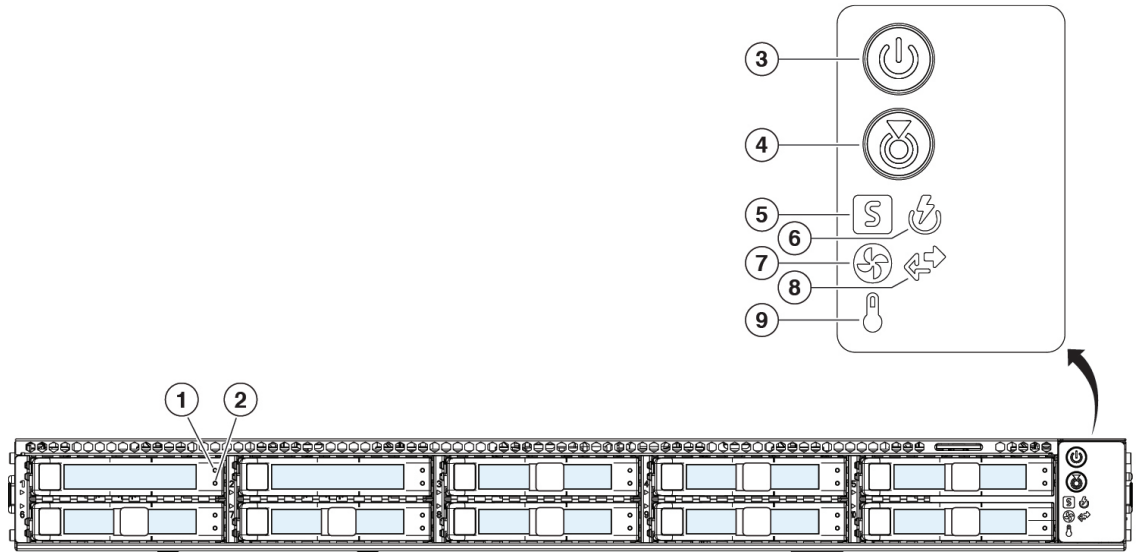


1	ドライブベイ スロット 1 ~ 16 で 16 台の 600 GB SAS HDD に対応	2	電源ボタン/電源ステータス LED
3	ユニット識別ボタン/LED	4	システムステータス LED
5	ファンステータス LED	6	温度ステータス LED
7	電源装置ステータス LED	8	ネットワーク リンク アクティビティ LED
9	引き出しアセットカード		—

前面パネル LED

次の図に、S195、S395、S695 および S695F の前面パネルの LED を示し、それらの状態について説明します。

図 9: 前面パネルの LED とそれらの状態



<p>1</p>	<p>ドライブ障害 LED :</p> <ul style="list-style-type: none"> • 消灯：ドライブは正常に動作中です。 • オレンジ：ドライブ障害が検出されました。 • オレンジの点滅：ドライブの再構築中です。 • 1 秒間隔のオレンジの点滅：ソフトウェアでドライブ位置特定機能がアクティブになっています。 	<p>2</p>	<p>ドライブアクティビティ LED :</p> <ul style="list-style-type: none"> • 消灯：ドライブトレイにドライブが存在しません（アクセスなし、障害なし）。 • 緑：ドライブの準備が完了しています。 • 緑の点滅：ドライブはデータの読み取り中または書き込み中です。
<p>3</p>	<p>電源 LED :</p> <ul style="list-style-type: none"> • 消灯：シャーシに AC 電力が供給されていません。 • オレンジ：シャーシはスタンバイモードです。 • 緑：シャーシは主電源モードです。すべてのコンポーネントに電力が供給されています。 	<p>4</p>	<p>ユニット識別 LED :</p> <ul style="list-style-type: none"> • 消灯：ユニット識別機能は使用されていません。 • 青の点滅：ユニット識別機能がアクティブです。

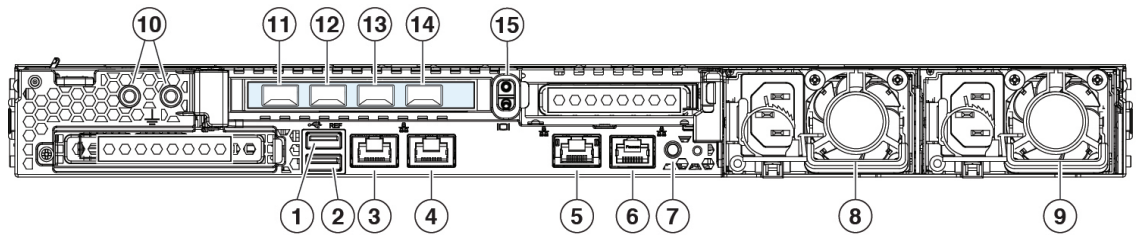
<p>5 システムステータス LED :</p> <ul style="list-style-type: none"> • 緑 : シャーシは正常動作状態で稼働しています。 • 緑の点滅 : シャーシはシステムの初期化とメモリチェックを行っています。 • オレンジ : シャーシは機能が低下した動作状態にあります (軽度の障害)。 <ul style="list-style-type: none"> • 電源装置の冗長性が失われている。 • CPU が一致しない。 • 少なくとも 1 個の CPU に障害が発生している。 • 少なくとも 1 個の DIMM に障害が発生している。 • RAID 構成内の少なくとも 1 台のドライブに障害が発生している。 • オレンジの点滅 (2 回) : システムボードで重度の障害が発生しています。 • オレンジの点滅 (3 回) : DIMM で重度の障害が発生しています。 • オレンジの点滅 (4 回) : CPU で重度の障害が発生しています。 	<p>6 電源装置ステータス LED :</p> <ul style="list-style-type: none"> • 緑 : すべての電源装置が正常に動作中です。 • オレンジ : 1 つ以上の電源装置が縮退運転状態にあります。 • オレンジの点滅 : 1 台以上の電源装置で重大な障害が発生しています。
<p>7 ファンステータス LED :</p> <ul style="list-style-type: none"> • 緑 : すべてのファンが正常に動作中です。 • オレンジの点滅 : 1 個以上のファンで回復不能なしきい値を超えました。 	<p>8 ネットワーク リンク アクティビティ LED :</p> <ul style="list-style-type: none"> • 消灯 : イーサネットポートリンクがアイドル状態です。 • 緑 : 1 個以上のイーサネットポートでリンクがアクティブになっていますが、アクティビティは存在しません。 • 緑の点滅 : 1 個以上のイーサネットポートでリンクがアクティブになっていて、アクティビティが存在します。

9	<p>温度ステータス LED :</p> <ul style="list-style-type: none"> • 緑：シャーシは正常温度で稼働中です。 • オレンジ：1つ以上の温度センサーで重大なしきい値を超えました。 • オレンジの点滅：1つ以上の温度センサーで回復不能なしきい値を超えました。 	
----------	--	--

背面パネル

次の図は、WSA S195 および S395 の背面パネルを示しています。LED の説明については、[背面パネル LED \(17 ページ\)](#) を参照してください。

図 10: S195 および S395 の背面パネル

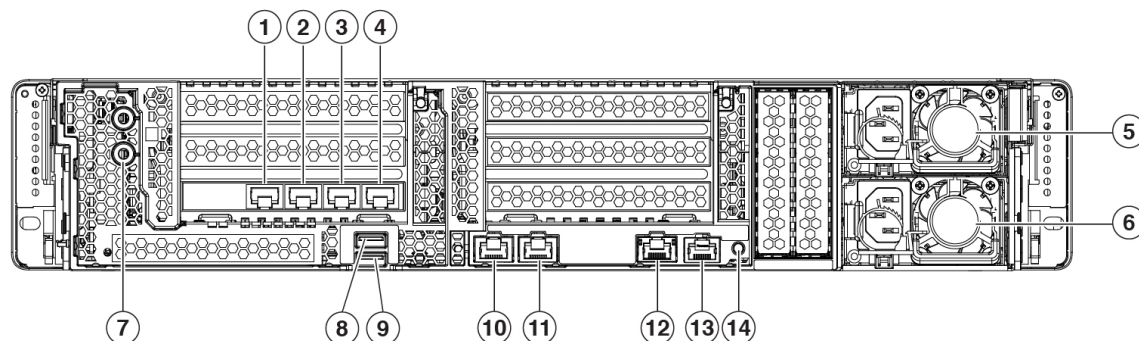


1	USB 3.0 タイプ A (USB 1)	2	USB 3.0 タイプ A (USB 2)
3	管理インターフェイス (M1) 管理用途のみに制限	4	管理インターフェイス (M2) 未使用
5	RPC ポート (RPC) リモートによる電源再投入に使用します。	6	シリアルコンソールポート (コンソール) アプライアンスに管理コンピュータを直接接続する RJ-45 コネクタ。
7	ユニット識別ボタン	8	770 W AC 電源装置 (PSU 1)
9	770 W AC 電源装置 (PSU 2) S195 に付属している電源装置は 1 台ですが、冗長性を確保するために 2 台目を注文できます。S395 には 2 台の電源装置が付属しています。	10	デュアルホールアースラグ用ネジ穴 使用は任意です。サポートされる AC 電源には内部アースがあるため、それ以上シャーシアースを接続する必要はありません。

11 プロキシポート 1 (P1) 着信トラフィックと発信トラフィックの両方に対応するネットワークに接続します。	12 プロキシポート 2 (P2) P1 と P2 の両方が有効である場合、P1 を内部ネットワーク、P2 をインターネットに接続する必要があります。 (注) P1 および P2 は、L4 スイッチ、WCCP ルータ、またはネットワーク スイッチに接続できます。
13 トラフィック モニタ ポート 1 (T1) デュプレックスイーサネット タップに使用します (1 本のケーブルですべての着信および発信トラフィックに対応)。	14 トラフィック モニタ ポート 2 (T2) シンプレックスイーサネット タップに使用します (T1 に接続した 1 本のケーブルでインターネットに送信されるすべてのパケットに対応し、T2 に接続した 1 本のケーブルでインターネットから着信するすべてのパケットに対応)。
15 ライザーハンドル 未サポート	—

次の図は、WSA S695 の背面パネルを示しています。LED の説明については、[背面パネル LED \(17 ページ\)](#) を参照してください。

図 11: S695 の背面パネル

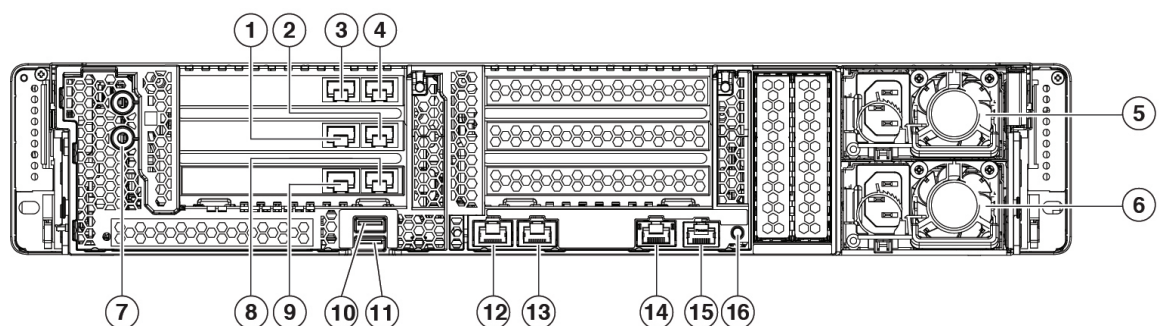


1 プロキシポート 1 (P1) 着信トラフィックと発信トラフィックの両方に対応するネットワークに接続します。	2 プロキシポート 2 (P2) P1 と P2 の両方が有効である場合、P1 を内部ネットワーク、P2 をインターネットに接続する必要があります。 (注) P1 および P2 は、L4 スイッチ、WCCP ルータ、またはネットワーク スイッチに接続できます。
---	---

3 トラフィック モニタ ポート 1 (T1) デュプレックス イーサネット タップに使用します (1本のケーブルですべての着信および発信トラフィックに対応)。	4 トラフィック モニタ ポート 2 (T2) シンプレックス イーサネット タップに使用します (T1に接続した1本のケーブルでインターネットに送信されるすべてのパケットに対応し、T2に接続した1本のケーブルでインターネットから着信するすべてのパケットに対応)。
5 1050 W AC 電源装置 (PSU 1)	6 1050 W AC 電源装置 (PSU 2)
7 デュアルホールアースラグ用ネジ穴 使用は任意です。サポートされる AC 電源には内部アースがあるため、それ以上シャーシアースを接続する必要はありません。	8 USB 3.0 タイプ A (USB 1)
9 USB 3.0 タイプ A (USB 2)	10 管理インターフェイス 1 (MGMT 1) 管理用途のみに制限
11 管理インターフェイス 2 (MGMT 2) 未使用	12 RPC ポート (RPC) リモートによる電源再投入に使用します。
13 シリアルコンソールポート (コンソール) アプライアンスに管理コンピュータを直接接続する RJ-45 コネクタ。	14 ユニット識別ボタン

次の図は、WSA S695Fの背面パネルを示しています。LEDの説明については、[背面パネルLED \(17 ページ\)](#) を参照してください。

図 12: S695Fの背面パネル



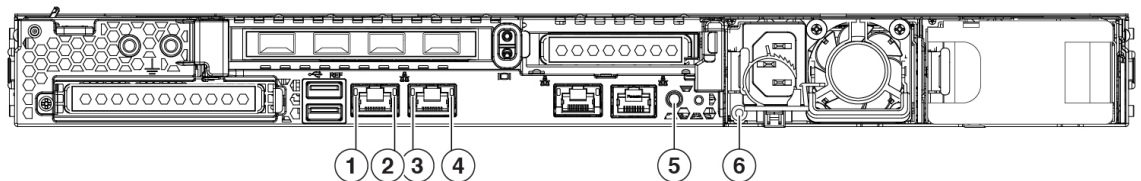
<p>1 トラフィック モニタ ポート 1 (T1)</p> <p>デュプレックス イーサネット タップに使用します (1本のケーブルですべての着信および発信トラフィックに対応)。</p> <p>1/10 ギガビット イーサネット SFP+ 対応</p> <p>(注) GLX-SX-MMD (1 Gb) および SFP-10G-SR (10Gb) は、シスコが認定した唯一の SFP+ トランシーバです。シスコ認定の SFP のみを使用してください。</p> <p>(注) 銅線 SFP はサポートされていません。</p>	<p>2 トラフィック モニタ ポート 2 (T2)</p> <p>シンプレックス イーサネット タップに使用します (T1 に接続した 1本のケーブルでインターネットに送信されるすべてのパケットに対応し、T2に接続した1本のケーブルでインターネットから着信するすべてのパケットに対応)。</p> <p>1/10 ギガビット イーサネット SFP+ 対応</p> <p>(注) GLX-SX-MMD (1 Gb) および SFP-10G-SR (10Gb) は、シスコが認定した唯一の SFP+ トランシーバです。シスコ認定の SFP のみを使用してください。</p> <p>(注) 銅線 SFP はサポートされていません。</p>
<p>3 プロキシポート 1 (P1)</p> <p>着信トラフィックと発信トラフィックの両方に対応するネットワークに接続します。</p> <p>1/10 ギガビット イーサネット SFP+ 対応</p> <p>(注) GLX-SX-MMD (1 Gb) および SFP-10G-SR (10Gb) は、シスコが認定した唯一の SFP+ トランシーバです。シスコ認定の SFP のみを使用してください。</p> <p>(注) 銅線 SFP はサポートされていません。</p>	<p>4 プロキシポート 2 (P2)</p> <p>P1 と P2 の両方が有効である場合、P1 を内部ネットワーク、P2 をインターネットに接続する必要があります。</p> <p>(注) P1 および P2 は、L4 スイッチ、WCCP ルータ、またはネットワーク スイッチに接続できます。</p> <p>1/10 ギガビット イーサネット SFP+ 対応</p> <p>(注) GLX-SX-MMD (1 Gb) および SFP-10G-SR (10Gb) は、シスコが認定した唯一の SFP+ トランシーバです。シスコ認定の SFP のみを使用してください。</p> <p>(注) 銅線 SFP はサポートされていません。</p>
<p>5 1050 W AC 電源装置 (PSU 1)</p>	<p>6 1050 W AC 電源装置 (PSU 2)</p>
<p>7 デュアルホールアースラグ用ネジ穴</p> <p>使用は任意です。サポートされる AC 電源には内部アースがあるため、それ以上シャーシアースを接続する必要はありません。</p>	<p>8 管理インターフェイス 2 (MGMT 2)</p> <p>サポート対象外</p>

9	管理インターフェイス 1 (MGMT 1) 管理用途のみに制限	10	USB 3.0 タイプ A (USB 1)
11	USB 3.0 タイプ A (USB 2)	12	データインターフェイス (DATA 1)
13	データインターフェイス (DATA 2)	14	RPC ポート (RPC) リモートによる電源再投入に使用します。
15	シリアルコンソールポート アプライアンスに管理コンピュータを直接 接続する RJ-45 コネクタ。	16	ユニット識別ボタン

背面パネル LED

次の図では、WSA S195 の背面パネル LED を示して、それぞれの状態について説明します。S395 は、電源装置が 2 台あること以外は同じです。S695 および S695F はデータ インターフェイスが多い点を除いて、LED は同じです。速度とステータスの LED の説明は同じです。

図 13: S195 と S395 の背面パネルの LED と状態



1	インターフェイス リンク速度： <ul style="list-style-type: none"> 消灯：リンク速度は 100 Mbps です。 オレンジ：リンク速度は 1 Gbps です。 緑：リンク速度は 10 Gbps です。 	2	インターフェイス リンク ステータス： <ul style="list-style-type: none"> 消灯：リンクが確立されていません。 緑：リンクはアクティブです。 緑の点滅：アクティブなリンクにトラフィックが存在します。
3	データ インターフェイス リンク速度： <ul style="list-style-type: none"> 消灯：リンク速度は 10 Mbps です。 オレンジ：リンク速度は 100 Mbps です。 緑：リンク速度は 1 Gbps です。 	4	データ インターフェイス リンク ステータス： <ul style="list-style-type: none"> 消灯：リンクが確立されていません。 緑：リンクはアクティブです。 緑の点滅：アクティブなリンクにトラフィックが存在します。

5 背面ユニット識別： <ul style="list-style-type: none"> • 消灯：ユニット識別機能は使用されていません。 • 青の点滅：ユニット識別機能がアクティブです。 	6 電源： <ul style="list-style-type: none"> • 消灯：AC 入力なし（12 V 主電源オフ、12 V スタンバイ電源オフ） • 緑の点滅：12 V 主電源はオフ、12 V スタンバイ電源はオンです。 • 緑：12 V 主電源はオン、12 V スタンバイ電源はオンです。 • オレンジの点滅：警告しきい値が検出されましたが、12 V 主電源はオンです。 • オレンジ：重大なエラーが検出されました（過電流、過電圧、過熱障害など）。12 V 主電源はオフです。
---	---

電源モジュール



(注) 1つの電源が常にアクティブであることを確認してください。

次の表に、WSA S195 と S395 に使用される 770 W AC 電源（シスコ製品番号 341-0591-04）の仕様を示します。

表 2: 770 W 電源装置の仕様

説明	仕様
AC 入力電圧範囲	公称範囲：100 ~ 120 V AC、200 ~ 240 V AC 範囲：90 ~ 132 V AC、180 ~ 264 V AC
AC 入力周波数	公称範囲：50 ~ -60 Hz 範囲：47 ~ 63 Hz
最大 AC 入力電流	9.5 A（100-V AC で最大） 4.5 A（208 VAC で最大）
最大入力ボルトアンペア	100 V AC で 950 VA
各電源装置の最大出力電力	770 W
最大突入電流	15 A（サブサイクル期間）

説明	仕様
最大保留時間	12 ms @ 770 W
電源装置の出力電圧	12 V DC
電源装置のスタンバイ電圧	12 V DC
効率評価	Climate Savers Platinum Efficiency (80 Plus Platinum 認証済み)
フォームファクタ	RSP2
入力コネクタ	IEC320 C13/C15

次の表に、WSA S695 および S695F で使用される 1050 W AC 電源装置（シスコ製品番号 341-0638-03）の仕様を示します。

表 3: 1050 W 電源装置の仕様

説明	仕様
AC 入力電圧範囲	公称範囲：100 ~ 120 V AC、200 ~ 240 V AC 範囲：90 ~ 132 V AC、180 ~ 264 V AC
AC 入力周波数	公称範囲：50 ~ 60 Hz 範囲：47 ~ 63 Hz
最大 AC 入力電流	12.5 A (100 V AC で最大) 6.0 A (208 V AC で最大)
最大入力ボルトアンペア	100 V AC で 1250 VA
各電源装置の最大出力電力	1050 W
最大突入電流	15 A (サブサイクル期間)
最大保留時間	1050 W で 12 ms
電源装置の出力電圧	12 V DC
電源装置のスタンバイ電圧	12 V DC
効率評価	Climate Savers Platinum Efficiency (80 Plus Platinum 認証済み)
フォームファクタ	RSP2
入力コネクタ	IEC320 C14

ハードウェア仕様

次の表に、WSA S195、S395、S695、および S695F のハードウェア仕様を示します。

表 4: WSA S195、S395、S695、および S695F のハードウェア仕様

仕様	S195	S395	S695	S695F
Weight	14.06 kg (31 ポンド)	15.19 kg (33.5 ポンド)	13.97 kg (30.8 ポンド)	23.68 kg (52.2 ポンド)
サイズ (高さ X 幅 X 奥行)	4.32 X 43.0 X 75.6 cm (1.7 X 16.89 X 29.8 インチ)		8.64 X 42.92 X 74.93 cm (3.4 X 16.9 X 29.5 インチ)	
温度	動作時 : 5 ~ 35°C (41 ~ 95°F) 海拔 305 m (1000 フィート) ごとに最高温度が 1°C 低下。 非動作時 : -40 ~ 65 °C (-40 ~ 149 °F) 保管時または輸送時			
相対湿度	動作時 : 10 ~ 90 % (結露しないこと) 非動作時 : 5 ~ 93 % (結露しないこと)			
高度	動作時 : 0 ~ 10,000 フィート 非動作時 : 0 ~ 40,000 フィート 保管時または輸送時			
音響出力レベル	5.5 Bel (ISO7779 準拠で測定した A 特性 LWAd) 23 °C (73 °F) で動作			
騒音レベル	40 dBa (ISO7779 準拠で測定した A 特性 LpAM) 23 °C (73 °F) で動作			

製品 ID 番号

次の表に、WSA S195、S395、S695、および S695F に関連付けられている PID を示します。予備のコンポーネントは、ユーザ自身が注文して交換可能なコンポーネントです。内部コンポーネントに障害が発生した場合は、SFP や SFP ケーブルを含めて、シャーシ全体の RMA を取得する必要があります。RMA 用のシャーシを送信する前に、ドライブと電源装置を取り外します。詳細については、「[Cisco Returns Portal](#)」を参照してください。

表 5: WSA S195、S395、S695、および S695F PID

PID	説明
CCS-HDD-600GB10K	WSA S195、S395、S695、S695F HDD
CCS-HDD-600GB10K=	WSA S195、S395、S695、S695F HDD (予備)
CCS-PSU1-770AC	WSA S195 および S395 の 770 AC 電源装置
CCS-PSU1-770AC=	WSA S195 および S395 の 770 AC 電源装置 (予備)
CCS-PSU1-1050AC	WSA S695 および S695F の 1050 AC 電源装置
CCS-PSU1-1050AC=	WSA S695 および S695F の 1050 AC 電源装置 (予備)
UCSC-RAILB-M4	WSA S195、S395、S695、および S695F のレールキット
UCSC-RAILB-M4=	WSA S195、S395、S695、および S695F のレールキット (予備)
UCSC-BZL-C220M5	WSA S195 および S395 の 1 RU ロック型前面プレート
UCSC-BZL-C220M5=	WSA S195 および S395 の 1 RU ロック型前面プレート (予備)
UCSC-BZL-C240M5	WSA S695 および S695F の 2 RU ロック型前面プレート
UCSC-BZL-C240M5=	WSA S695 および S695F の 2 RU ロック型前面プレート (予備)
SFP-10G-SR	ESA C695F 10 Gb SFP
SFP-10G-SR=	ESA C695F 10 Gb SFP (予備)
GLC-SX-MMD	ESA C695F 1 Gb SFP
GLC-SX-MMD=	ESA C695F 1 Gb SFP (予備)

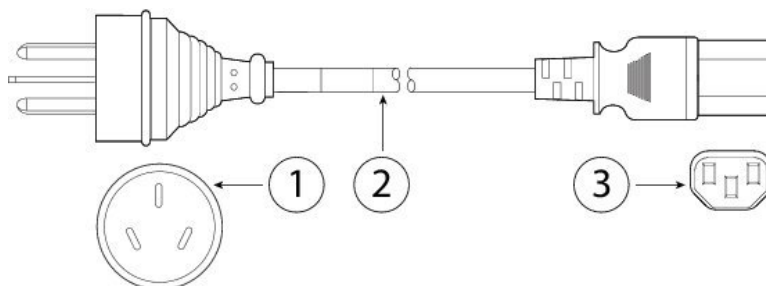
電源コードの仕様

各電源装置には個別の電源コードがあります。WSA との接続には、標準の電源コードまたはジャンパ電源コードを使用できます。ラック用のジャンパ電源コードは、必要に応じて標準の電源コードの代わりに使用できます。

システムのオプションの電源コードを注文しない場合は、ユーザの責任で製品に適した電源コードを選択します。この製品と互換性がない電源コードを使用すると、電気の安全性に関する危険が生じる可能性があります。アルゼンチン、ブラジル、および日本向けの注文では、システムとともに注文される適切な電源コードが必要です。

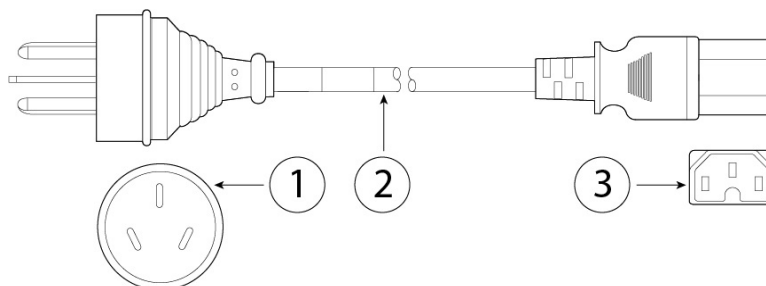
次の電源コードとジャンパコードがサポートされています。

図 14: アルゼンチン **CAB-250V-10A-AR**



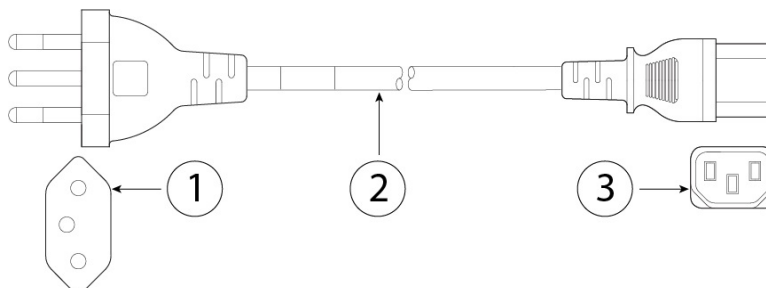
1	プラグ : IRAM 2073	2	コードセット定格 : 10 A、250 V
3	コネクタ : IEC 60320/C13		

図 15: オーストラリア **CAB-9K10A-AU**



1	プラグ : A.S. 3112-2000	2	コードセット定格 : 10 A、250 V
3	コネクタ : IEC 60320/C15		

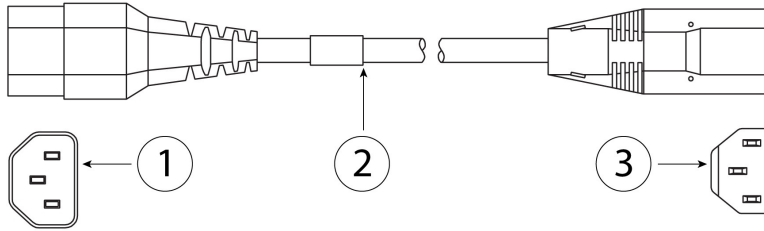
図 16: ブラジル **PWR-250V-10A-BZ**



1	プラグ : NBR 14136	2	コードセット定格 : 10 A、250 V
---	-----------------	---	-----------------------

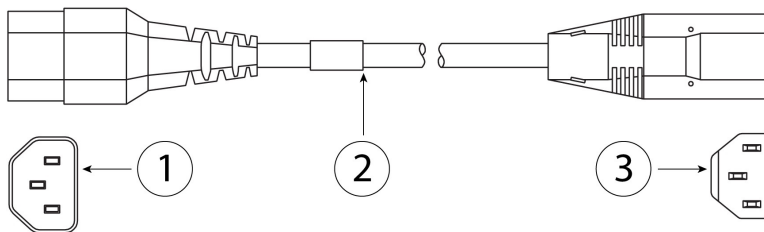
3	コネクタ : IEC 60320/C13
----------	----------------------

図 17: キャビネットジャンパ CAB-C13-C14-2M



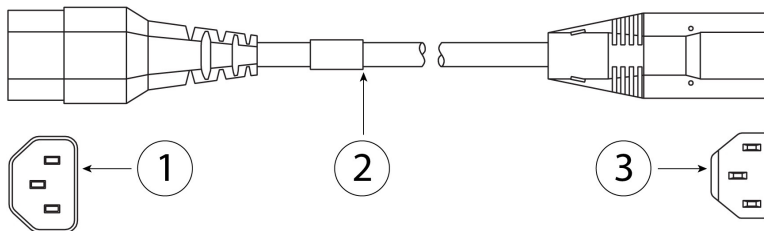
1	プラグ : SS10A	2	コードセット定格 : 10 A、250 V
3	コネクタ : HS10S、C-13 ~ C-14		

図 18: キャビネットジャンパ CAB-C13-C14-AC



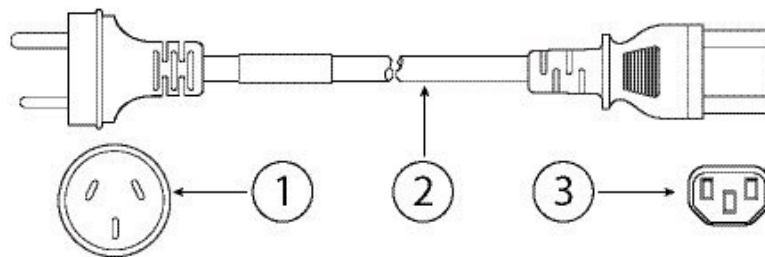
1	プラグ : SS10A	2	コードセット定格 : 10 A、250 V
3	コネクタ : HS10S、C-13 ~ C-14 (埋め込み型コンセント)		

図 19: キャビネットジャンパ CAB-C13-CBN



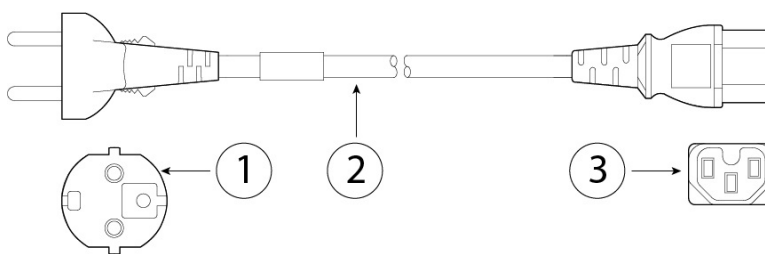
1	プラグ : SS10A	2	コードセット定格 : 10 A、250 V
3	コネクタ : HS10S、C-13 ~ C-14		

図 20: 中国 CAB-250V-10A-CH



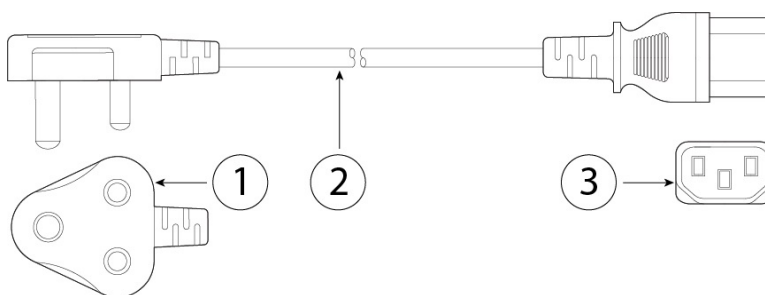
1	プラグ : GB2099.1/2008	2	コードセット定格 : 10 A、250 V
3	コネクタ : IEC 60320/C13		

図 21: ヨーロッパ CAB-9K10A-EU



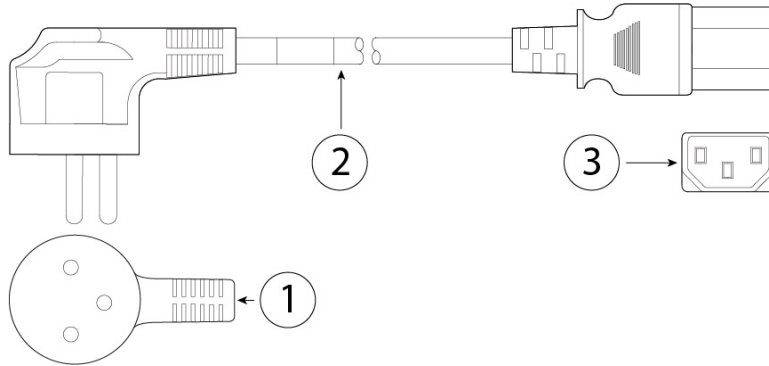
1	プラグ : CEE 7/7 (M2511)	2	コードセット定格 : 10 A/16 A、250 V
3	コネクタ : IEC 60320/C15 (VSCC 15)		

図 22: インド CAB-250V-10A-ID



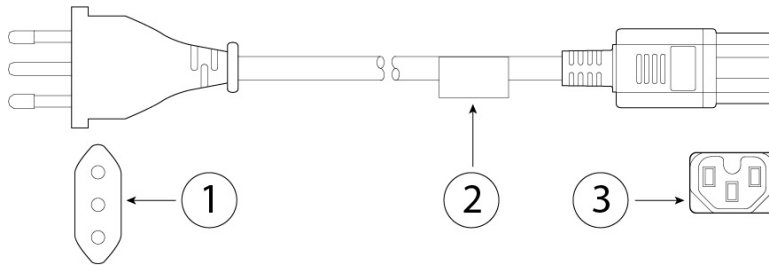
1	プラグ : IS 6538-1971	2	コードセット定格 : 16 A、250 V
3	コネクタ : IEC 60320-C13		

図 23: イスラエル CAB-250V-10A-IS



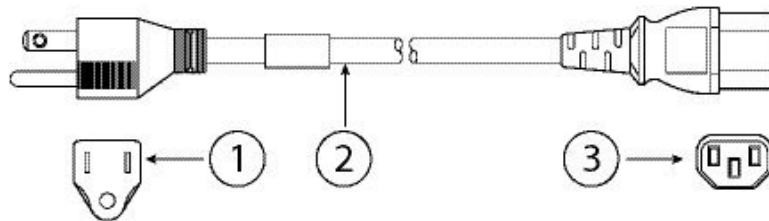
1	プラグ : SI-32	2	コードセット定格 : 10 A、250 V
3	コネクタ : IEC 60320-C13		

図 24: イタリア CAB-9K10A-IT



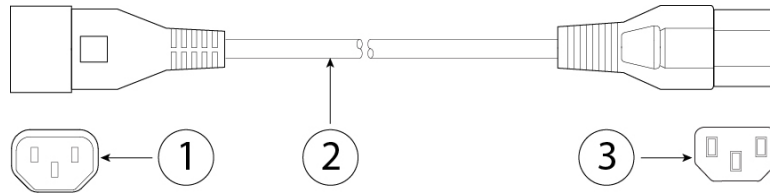
1	プラグ : CEI 23-16/VII (I/3G)	2	コードセット定格 : 10 A、250 V
3	コネクタ : IEC 60320/C15 (EN 60320/C15M)		

図 25: 日本 CAB-JPN-3PIN



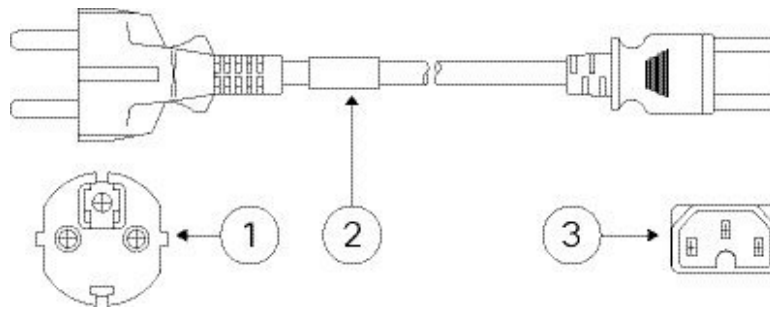
1	プラグ : JIS 8303	2	コードセット定格 : 12 A、125 V
3	コネクタ : IEC 60320/C13		

図 26: 日本 CAB-C13-C14-2M-JP



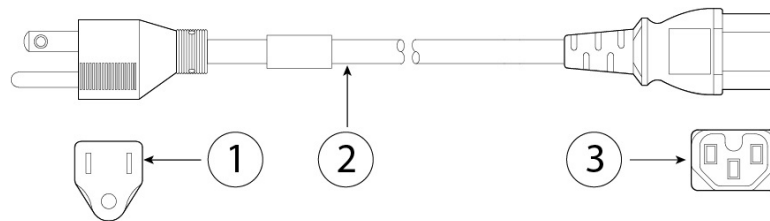
1	プラグ : EN 60320-2-2/E	2	コードセット定格 : 10 A、250 V
3	コネクタ : EN 60320/C13 ~ C14		

図 27: 韓国 CAB-9K10S-KOR



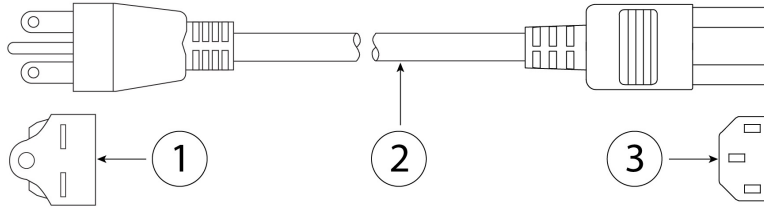
1	プラグ : EL211 (KSC 8305)	2	コードセット定格 : 10 A、250 V
3	コネクタ : IEC 60320/C15		

図 28: 北米 CAB-9K12A-NA



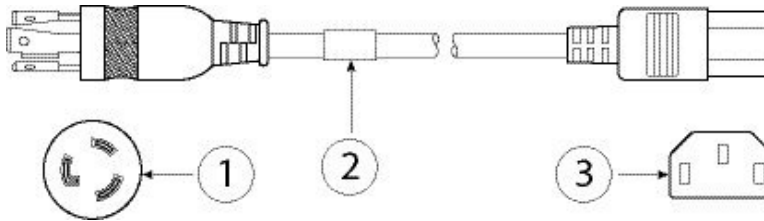
1	プラグ : NEMA5-15P	2	コードセット定格 : 13 A、125 V
3	コネクタ : IEC 60320/C15		

図 29: 北米 CAB-N5K6A-NA



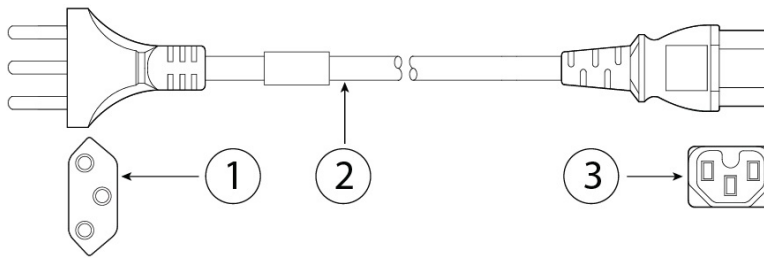
1	プラグ : NEMA6-15P	2	コードセット定格 : 10 A、125 V
3	コネクタ : IEC 60320/C13		

図 30: 北米 CAB-AC-L620-C13



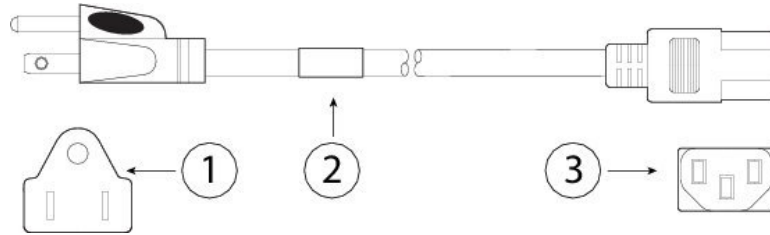
1	プラグ : NEMA L6-20 (ツイストロック型)	2	コードセット定格 : 13 A、250 V
3	コネクタ : IEC 60320/C13		

図 31: スイス CAB-9K10A-SW



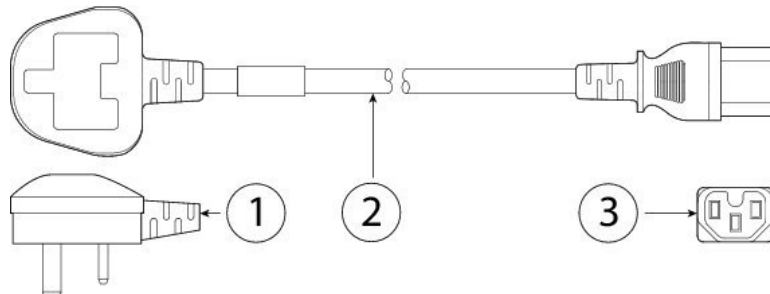
1	プラグ : SEV 1011 (MP232-R)	2	コードセット定格 : 10 A、250 V
3	コネクタ : IEC 60320/C15		

図 32: 台湾 CAB-ACTW



1	プラグ : EL 302 (CNS10917)	2	コードセット定格 : 10 A、125 V
3	コネクタ : IEC 60320/C13		

図 33: 英国 CAB-9K10A-UK



1	プラグ : BS1363A/SS145	2	コードセット定格 : 10 A、250 V
3	コネクタ : IEC 60320/C15		



第 2 章

インストールの準備

- 設置に関する警告 (29 ページ)
- 安全に関する推奨事項 (31 ページ)
- 電気製品を扱う場合の注意 (32 ページ)
- 静電破壊の防止 (32 ページ)
- 設置場所の環境 (33 ページ)
- サイトの考慮事項 (33 ページ)
- 電源モジュールに関する考慮事項 (33 ページ)
- ラックの構成に関する考慮事項 (34 ページ)

設置に関する警告

シャーシを設置する前に、必ず『[Regulatory Compliance and Safety Information](#)』のドキュメントをお読みください。

次の警告を記録しておいてください。



警告 ステートメント 1071：警告の定義

安全上の重要な注意事項

装置の取り扱い作業を行うときは、電気回路の危険性に注意し、一般的な事故防止対策に留意してください。使用、設置、電源への接続を行う前にインストール手順を読んでください。各警告の最後に記載されているステートメント番号を基に、装置の安全についての警告を参照してください。

これらの注意事項を保管しておいてください。





警告 ステートメント 1005：回路ブレーカー

この製品は設置する建物に回路短絡（過電流）保護機構が備わっていることを前提に設計されています。この保護装置の定格が 250 V、15 A 以下であることを確認します。



警告 ステートメント 1006：ラックへの設置と保守に関するシャーン警告

ラックへのユニットの設置や、ラック内のユニットの保守作業を行う場合は、負傷事故を防ぐため、システムが安定した状態で置かれていることを十分に確認してください。安全を確保するために、次の注意事項を守ってください。

- ラックに設置する装置が 1 台だけの場合は、ラックの一番下に取り付けます。
 - ラックにすでに他の装置が搭載されている場合は、最も重いコンポーネントをラックの一番下にして、重い順に下から上へと搭載するようにしてください。
 - ラックにスタビライザが付いている場合は、スタビライザを取り付けてから、ラックに装置を設置したり、ラック内の装置を保守したりしてください。
-



警告 ステートメント 1015：バッテリーの取り扱い

火災、爆発、または可燃性液体やガス漏れのリスクを軽減するために。

- 交換用バッテリーは元のバッテリーと同じものか、製造元が推奨する同等のタイプのものを使用してください。
 - 分解、粉碎、破壊、鋭利な道具を使った取り外し、外部接点のショート、火中への廃棄は行わないでください。
 - バッテリーがゆがんだり、膨らんだりしているときは使用しないでください。
 - 60 °C を超える温度でバッテリーを保管または使用しないでください。
 - 69.7 kPa よりも低い低気圧環境でバッテリーを保管または使用しないでください。
-



警告 ステートメント 1017：立ち入り制限区域

この装置は、出入りが制限された場所に設置されることを想定しています。立ち入り制限区域には、熟練者、教育を受けた担当者、または資格保持者しか入れません。

**警告** ステートメント 1019：主要な切断装置

いつでも装置の電源を切断できるように、プラグおよびソケットにすぐ手が届く状態にしておいてください。

**警告** ステートメント 1053：クラス 1M レーザー光線

危険レベル 1M 不可視レーザー放射が存在します。光学器具で直接ビームを見ないこと、またレーザー用保護めがねの着用要。

**警告** ステートメント 1047：過熱の防止

システムの過熱を防ぐため、最大推奨周囲温度の 35°C (95°F) を超えるエリアで操作しないでください。

**警告** ステートメント 1074：地域および国の電気規則への適合

感電または火災のリスクを軽減するため、機器は地域および国の電気規則に従って設置する必要があります。

安全に関する推奨事項

これらの安全に関する注意事項を遵守してください。

- 設置作業中および作業後は、設置場所を整理し、埃のない状態に保ってください。
- 工具は、通行の邪魔にならない場所に置いてください。
- ゆったりとした衣服やイヤリング、ブレスレット、ネックレスなどの装飾品は身につけず、シャーシに引っかかることがないようにしてください。
- 目が危険にさらされる状況で作業する場合は、保護眼鏡を着用してください。
- 人身事故や装置障害を引き起こす可能性のある作業は行わないでください。
- 重量が 1 人で扱える範囲を超えているものを、単独で持ち上げないでください。

電気製品を扱う場合の注意



警告 シャーシの作業を行う前に、必ず電源コードを抜いてください。

シャーシを設置する前に、必ず『[Regulatory Compliance and Safety Information](#)』のドキュメントをお読みください。

電気機器を取り扱う際には、次の注意事項に従ってください。

- シャーシ内部の作業を開始する前に、作業を行う部屋の緊急電源遮断スイッチの場所を確認しておいてください。電気事故が発生した場合は、ただちにその部屋の電気を切ってください。
- 危険を伴う作業は、一人では行わないでください。
- 電源が切断されていると思いつまらずに、必ず確認してください。
- 床が濡れていないか、アースされていない電源延長コード、すり減った電源コード、保護アースの不備などがなくどうか、作業場所の安全を十分に確認してください。
- 電気事故が発生した場合は、次のように対処してください。
 - 負傷しないように注意してください。
 - シャーシから電源を切断します。
 - 可能であれば、だれかに頼んで救護を呼んでもらいます。それができない場合は、負傷者の状況を見極めてから救援を要請してください。
 - 負傷者に人工呼吸または心臓マッサージが必要かどうかを判断し、適切な処置を施してください。
- シャーシは、指定された定格電力の範囲内で、製品の使用説明書に従って使用してください。
- Cisco コンテンツ セキュリティ アプライアンス x95 シリーズに搭載されている AC 入力電源装置には3線式の電気コードが付属しており、そのアース端子付きのプラグはアース端子付きの電源コンセントにしか差し込めないようになっています。これは大変重要な安全メカニズムです。装置のアースは、地域および国内の電気規定に適合させる必要があります。

静電破壊の防止

電子部品の取り扱いが不適切な場合、ESDが発生し、機器の損傷や電気回路の破損を引き起こす可能性があります。その結果、機器の断続的障害または完全な故障を引き起こします。

部品の取り外しまたは交換を行うときは、必ず静電気防止手順に従ってください。シャーシが電氣的にアースに接続されていることを確認してください。静電気防止用リストストラップを肌に密着させて着用してください。アースクリップをシャーシフレームの塗装されていない表面に止めて、静電気が安全にアースに流れるようにします。静電放電による損傷とショックを防止するには、リストストラップとコードを効果的に作用させる必要があります。リストストラップがない場合は、シャーシの金属部分に触れて、身体を接地してください。

安全を確保するために、静電気防止用ストラップの抵抗値を定期的にチェックしてください。抵抗値は1～10 MΩである必要があります。

設置場所の環境

物理的仕様については、[ハードウェア仕様（20 ページ）](#)を参照してください。

設置場所のレイアウトや機器の配置を検討するときは、機器故障を予防し、環境に起因するシャットダウンを防ぐため、次項の情報を考慮してください。既存の装置で停止やエラーが頻繁に起きている場合にも、この考慮事項を参考にすることにより、障害の原因を突き止め、今後問題が起きないように予防することができます。

サイトの考慮事項

以下の情報を考慮することで、シャーシに適した動作環境を確保し、環境による装置の故障を防ぐことができます。

- 電子機器は放熱します。空気の循環が不十分な場合、周辺の温度が上昇し、その結果、適切な動作温度まで装置を冷却できなくなることがあります。システムを使用する室内で十分に換気が行われるようにしてください。
- シャーシカバーが完全に取り付けられていることを確認してください。シャーシは内部を冷却用の空気が適切に流れるように設計されています。シャーシが開いていると、空気が漏れて、内蔵部品に冷却用の空気が行き渡らなくなったり、空気の流れが妨害されることがあります。
- 常に静電気防止手順に従い、機器の損傷を防いでください。静電放電による損傷によって、即時または断続的な機器障害が発生する可能性があります。

電源モジュールに関する考慮事項

シャーシの電源装置の詳細については、「[電源モジュール（18 ページ）](#)」を参照してください。

シャーシを設置する際には、以下のことを考慮してください。

- シャーシを設置する前に、設置場所の電源を調べ、スパイクやノイズがないかどうかを確認してください。必要に応じて電源調整器を設置し、アプライアンス入力電圧にて適切な電圧および電力レベルを確保してください。
- 設置場所で適切にアースし、雷や電力サージによる損傷を防止してください。
- シャーシでは、ユーザが動作範囲を選択できません。シャーシの正確なアプライアンス入力所要電力については、そのラベルを参照してください。
- シャーシには複数の種類の AC 入力電源コードを使用できます。設置場所に適したタイプを使用してください。
- デュアル冗長 (1+1) 電源を使用している場合は、各電源に独立した電気回路を使用することを推奨します。
- できるだけ、無停電電源装置を使用してください。

ラックの構成に関する考慮事項

ラックマウントの手順については、[シャーシのラックマウント \(36 ページ\)](#) を参照してください。

ラックの構成を決めるときは、次のことを考慮してください。

- 開放型ラックにシャーシをマウントする場合、ラックのフレームで吸気口や排気口をふさがないように注意してください。
- 閉鎖型ラックに十分な通気があることを確認してください。各シャーシで熱が発生するため、ラック内に装置を詰め込みすぎないように注意してください。冷気が回るように、閉鎖型ラックにはルーバーが付いた側面とファンが必要です。
- 閉鎖型ラックの上部に換気用ファンが付いている場合には、ラックの下段に設置した装置の熱が上昇し、上段の装置の吸気口から入り込む可能性があります。ラック下段の装置に対して、十分な換気が行われるようにしてください。
- バッフルは吸気から排気を分離するときに役立ちます。また、シャーシ内に冷気を取り込むためにも役立ちます。隔壁は、シャーシ内に冷気を行き渡らせるためにも有効です。隔壁の最適な取り付け位置は、ラック内の空気がどのように流れるかによって異なります。



第 3 章

シャーシのラックマウント

- [シャーシの開梱と確認 \(35 ページ\)](#)
- [シャーシのラックマウント \(36 ページ\)](#)

シャーシの開梱と確認



(注) シャーシは厳密に検査したうえで出荷されています。輸送中の破損や内容品の不足がある場合には、ただちにカスタマーサービス担当者に連絡してください。破損が原因でシャーシを返送する必要がある場合に備えて、輸送用の箱を保管しておいてください。

シャーシで標準装備になっている項目の一覧については、[パッケージの内容 \(4 ページ\)](#) を参照してください。

- ステップ 1** 段ボール箱からシャーシを取り出します。梱包材はすべて保管しておいてください。
- ステップ 2** カスタマーサービス担当者から提供された機器リストと梱包品の内容を照合します。すべての品目が揃っていることを確認してください。
- ステップ 3** 破損の有無を調べ、内容品の間違いや破損がある場合には、カスタマーサービス担当者に連絡してください。次の情報を用意しておきます。
- 発送元の請求書番号（梱包明細を参照）
 - 破損している装置のモデルとシリアル番号
 - 破損状態の説明
 - 破損による設置への影響

シャーシのラックマウント

始める前に

シスコのラックキットを使用して、ラックにシャーシを設置できます（部品番号 800-43376-02）。

次のタイプのラックを使用する必要があります。

- 標準的な 48.3 cm（19 インチ）幅 4 支柱 EIA ラック（ANSI/EIA-310-D-1992 のセクション 1 に準拠した英国ユニバーサルピッチに適合するマウント支柱付き）。
- 付属のスライドレールを使用する場合、ラック支柱の穴は、0.38 インチ（9.6 mm）の正方形、0.28 インチ（7.1 mm）の丸形、#12-24 UNC、または #10-32 UNC になります。
- アプライアンスあたりの縦方向の最小ラックスペースは、1 RU、つまり 44.45 mm（1.75 インチ）である必要があります。
- シャーシのスライドレールの調整範囲は 610 ～ 914 mm（24 ～ 36 インチ）です。



- (注) シャーシに付属しているスライドレールの場合、設置先のラックに 9.6 mm（0.38 インチ）の正方形、7.1 mm（0.28 インチ）の丸形、または #12-24 UNC のネジ穴があれば、設置用の工具は必要ありません。

安全上の警告

次の警告に注意してください。



警告 ステートメント 1006：ラックへの設置と保守に関するシャーシ警告

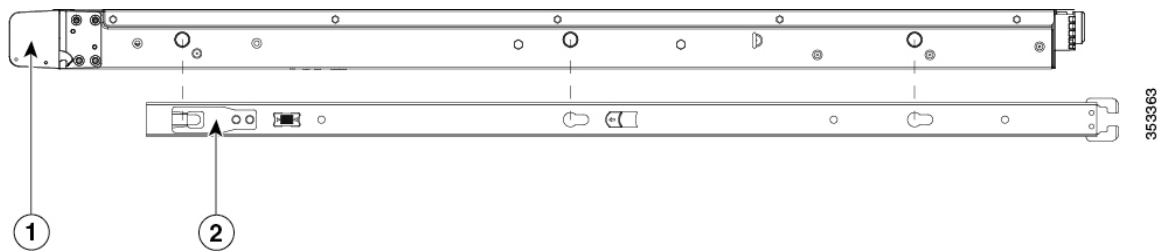
ラックへのユニットの設置や、ラック内のユニットの保守作業を行う場合は、負傷事故を防ぐため、システムが安定した状態で置かれていることを十分に確認してください。安全を確保するために、次の注意事項を守ってください。

- ラックに設置する装置が 1 台だけの場合は、ラックの一番下に取り付けます。
- ラックにすでに他の装置が搭載されている場合は、最も重いコンポーネントをラックの一番下にして、重い順に下から上へと搭載するようにしてください。
- ラックにスタビライザが付いている場合は、スタビライザを取り付けてから、ラックに装置を設置したり、ラック内の装置を保守したりしてください。

ステップ 1 シャーシの側面に内側レールを装着します。

- a) レール内の3つのキー付きスロットがシャーシ側面の3つのペグの位置に合うように、内側レールをシャーシの一方の側の位置に合わせます。
- b) キー付きスロットをペグに設定し、レールを前面に向けてスライドさせて、ペグの所定の位置にロックします。前面スロットには、前面ペグにロックするための金属製クリップがあります。
- c) 2つ目の内側レールをシャーシの反対側に取り付けます。

図 34: サーバ側面への内側レールの取り付け

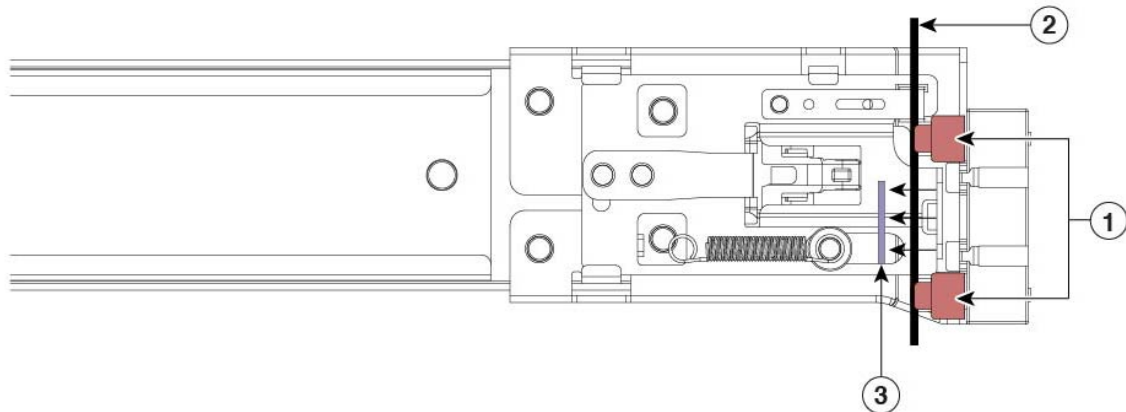


1	シャーシ前面	2	内側レールのロックングクリップ
---	--------	---	-----------------

ステップ 2 両方のスライドレール部品で前面の固定プレートを開きます。スライドレール部品の前端に、バネ仕掛けの固定プレートがあります。取り付けペグをラック支柱の穴に挿入する前に、この固定プレートが開いている必要があります。

部品の外側で、背面を向いている緑色の矢印ボタンを押して、固定プレートを開きます。

図 35: 前面の固定部分、前端の内側



1	前面側の取り付けペグ	2	ラック支柱
3	開いた位置に引き戻された固定プレート	—	

ステップ 3 次の手順に従って、スライドレールをラックに取り付けます。

- a) 片側のスライドレール部品の前端を、使用する前面ラック支柱の穴の位置に合わせます。
スライドレールの前部がラック支柱の外側を回り込むように配置され、取り付けペグが外側の前部からラック支柱の穴に入ります。

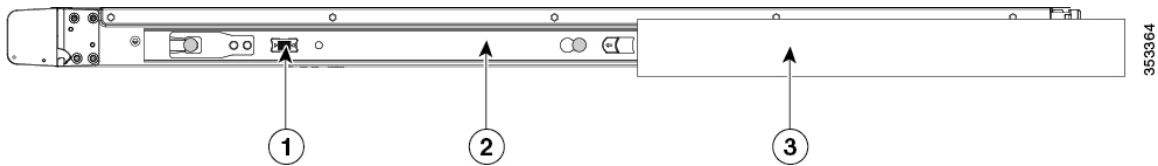
(注) ラック支柱は、取り付けペグと開いた固定プレートの間にある必要があります。

- b) 取り付けペグを、外側前面からラック支柱の穴に差し込みます。
- c) 「PUSH」のマークが付いた固定プレートのリリースボタンを押します。ばね仕掛けの固定プレートが閉じて、ペグが所定の位置にロックされます。
- d) 2つ目のスライドレール部品を、ラックの反対側に取り付けます。2個のスライドレール部品が相互に同じ高さであり、水平になっていることを確認します。
- e) 所定の位置に収まって留まるまで、各部品の内側のスライドレールをラック前方へ引き出します。

ステップ4 シャーシをスライドレールに装着します。

- a) シャーシの側面に装着されている内側レールの背面を、ラック上の空のスライドレールの前端の位置に合わせます。
- b) 内部の停止位置で止まるまで、内側レールをラック上のスライドレールに押し込みます。
- c) 両方の内側レールでリリースクリップを背面に向けてスライドさせたら、前面のスラムラッチがラック支柱に収まるまで、シャーシをラックに押し込みます。

図 36: 内側レールのリリースクリップ



1	内側レールのリリースクリップ	2	シャーシに装着され、外側レールに挿入されている内側レール
3	ラック支柱に装着されている外側レール		

ステップ5 (オプション) スライドレールに付属の2本のネジを使用して、シャーシをさらに確実にラックに固定します。シャーシを取り付けたラックを移動する場合は、この手順を実行します。シャーシをスライドレールに完全に押し込んだ状態で、シャーシ前面のヒンジ付きスラムラッチのレバーを開き、レバーの下にある穴からネジを挿入します。ネジがラック支柱のレールの静止部分に挿入され、シャーシが引き抜かれるのを防ぎます。反対のスラムラッチについても行ってください。

次のタスク

ご使用のソフトウェアバージョンの[スタートアップガイド](#)に記載されているデフォルトのソフトウェア設定に従ってケーブルを取り付けます。



第 4 章

メンテナンスとアップグレード

- 電源ボタンのシャットダウン (39 ページ)
- RPC の有効化 (40 ページ)
- シャーシのリモートリセット (41 ページ)
- ロック型前面プレートの取り付けおよび取り外し (41 ページ)
- ドライブの取り外しと交換 (43 ページ)
- 電源装置の取り外しと交換 (45 ページ)

電源ボタンのシャットダウン

シャーシは、次の 2 つのモードで動作します。

- 主電源モード：すべてのコンポーネントに電力が供給されて、すべてのオペレーティングシステムが動作できるようになります。
- スタンバイ電源モード：電力はサービスプロセッサと特定のコンポーネントにのみ供給されます。このモードでは、シャーシから電源コードを安全に取り外すことができます。



注意

スタンバイ電源へのシャーシをシャットダウンした後もシャーシ内に電流が残っています。いくつかのメンテナンス手順で指示されている電源切断を実行するには、シャーシ内のすべての電源装置からすべての電源コードを外す必要があります。

前面パネルの電源ボタンか、またはソフトウェア管理を使用してシャーシをシャットダウンできます。

ステップ 1 電源 LED を確認します。

- オレンジ：シャーシはスタンバイモードであり、安全に電源を切断することができます。
- 緑：シャーシは主電源モードであり、安全に電源を切断するにはシャットダウンする必要があります。

ステップ 2 グレースフルシャットダウンまたはハードシャットダウンを実行します。

注意 データ損失やオペレーティングシステムへの損傷を防ぐには、オペレーティングシステムのグレースフルシャットダウンを実行します。

- グレースフルシャットダウン：電源ボタンを押して放します。オペレーティングシステムがグレースフルシャットダウンを実行し、シャーシがスタンバイモードになります。電源 LED がオレンジに点灯します。
- 緊急シャットダウン：電源ボタンを 4 秒間押し続けると、主電源が強制的にオフになり、すぐにスタンバイモードになります。

ステップ 3 メンテナンス手順でシャーシの電源を完全に切断するよう指示されている場合は、電源装置からすべての電源コードを外します。

RPC の有効化

シャーシの電源をリモートでリセットする前に、RPC を有効にして設定する必要があります。

始める前に

- RPC ポートをセキュアネットワークに直接ケーブル接続します。
- ファイアウォールを介して必要なポートを開き、シャーシにリモートでアクセスできることを確認します。
- RPC には RPC ポートに固有の IPv4 アドレスが必要です。RPC ポートを設定するには次の手順を実行する必要があります。 **ipconfig** コマンドを使用して設定することはできません。
- アプライアンスの電源を再投入するには、インテリジェントプラットフォーム管理インターフェイス (IPMI) バージョン 2.0 をサポートするサードパーティ製ツールが必要です。

ステップ 1 SSH またはシリアルコンソールポートを使用して CLI にアクセスします。

ステップ 2 管理者アクセス権があるアカウントを使用してログインします。

ステップ 3 以下のコマンドを入力します。

```
remotepower
setup
```

ステップ 4 プロンプトに従って、以下の情報を指定します。

- RPC ポートの専用 IP アドレス、ネットマスク、およびゲートウェイ。
- **power-cycle** コマンドを実行するために必要なユーザ名とパスワード。

これらのクレデンシャルは、アプライアンスへのアクセスに使用する他のクレデンシャルに依存しません。今後 RPC を設定する必要がある管理者のために、この情報を保存します。

ステップ5 `commit` を入力して変更を保存します。

ステップ6 設定をテストして、シャーシの電源をリモートで管理できることを確認します。

次のタスク

[シャーシのリモートリセット \(41 ページ\)](#)

シャーシのリモートリセット

シャーシをハードリセットする必要がある場合は、サードパーティ製 IPMI ツールを使用してシャーシをリモートでリブートできます。

始める前に

- 事前に RPC を有効にする必要があります。手順については、[RPC の有効化 \(40 ページ\)](#) を参照してください。
- 次の IPMI コマンドのみがサポートされています。使用方法については、IPMI ツールのドキュメントを参照してください。

status、on、off、cycle、reset、diag、soft

- IPMI バージョン 2.0 を使用してデバイスを管理できるユーティリティを設定します。

ステップ1 IPMI を使用して、サポートされている電源再投入コマンドを RPC ポートに割り当てる IP アドレスに発行します。

(注) RPC ポートに、必要なクレデンシャルが設定されている必要があります。詳細については、[RPC の有効化 \(40 ページ\)](#) を参照してください。

たとえば、IPMI をサポートしている UNIX コンピュータから次のコマンドを発行します。

```
ipmitool -I lan -H ip-address -U remoteresetuser -P password chassis power reset
```

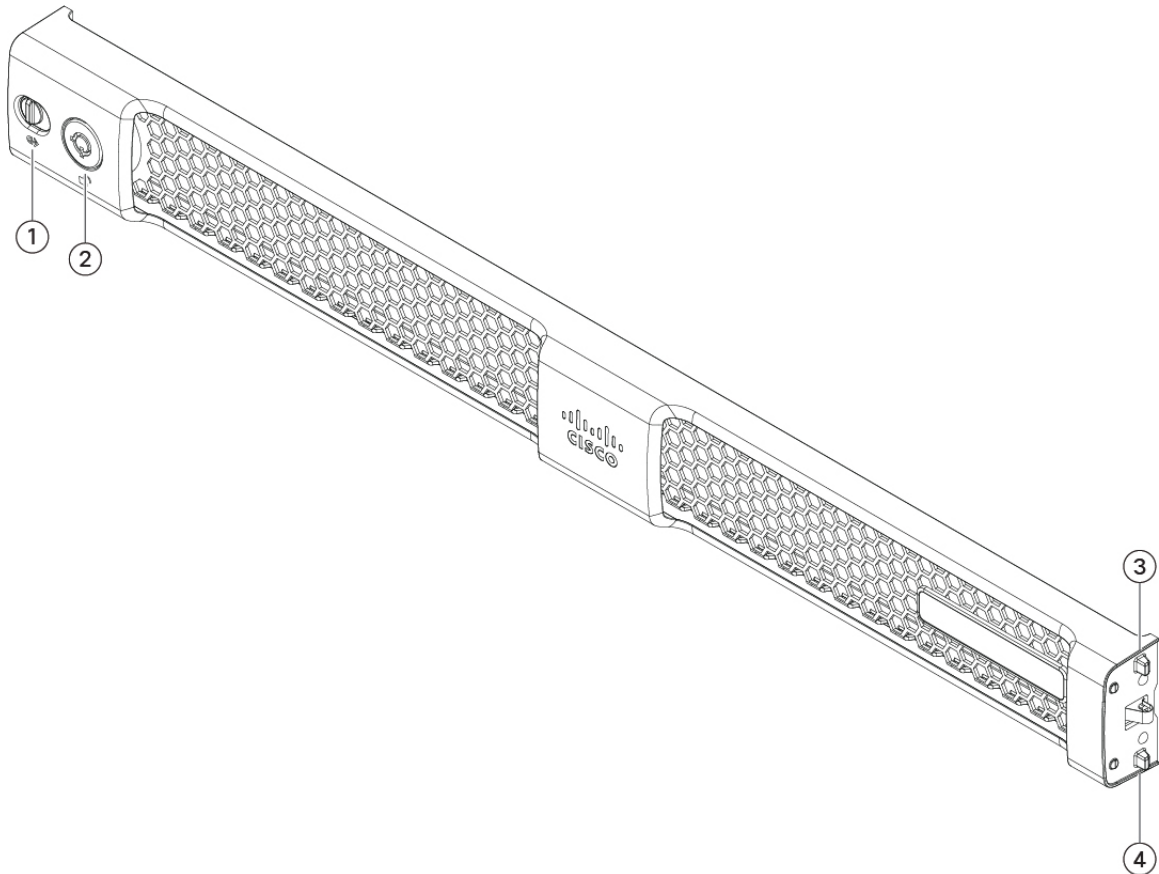
ステップ2 シャーシがリブートするまで、少なくとも 11 分間待ちます。

ロック型前面プレートの取り付けおよび取り外し

ロック型前面プレート (1 RU シャーシ用のシスコ製品番号は 74-115098-01、2 RU シャーシ用のシスコ製品番号は 74-115099-01) には、前面プレートをシャーシの前面パネルにロックするために必要な鍵が付属しています。ロック型前面プレートは、前面パネルの2つの側面ハンドルの間に収まります。

ステップ 1 2つのプラスチックのツメをシャーシ前面の右側のハンドルにある2つの切り欠きに合わせて、ロック型前面プレートの右側を挿入します。

図 37: ロック型前面プレート



1	ラッチ	2	鍵穴
3	バネ式のツメ	4	バネ式のツメ

ステップ 2 前面パネルの左側のハンドルに、前面プレートの左側を押し込みます。ツメはラッチにバネで固定されているため、前面プレートを取り付けると押し込まれます。

ステップ 3 前面プレートに付属の鍵を使用して、前面プレートをロックします。

ステップ 4 前面プレートを取り外すには、前面プレートのロックを解除してラッチを右側に押し込み、前面プレートを引き出します。

ドライブの取り外しと交換

ドライブはホットスワップ可能です。ドライブを取り外したり交換したりするために、シャーシをシャットダウンする必要はありません。

シャーシにドライブを追加することはできません。モデルでサポートされているスロットのドライブのみ交換できます。

安全上の警告

次の警告を記録しておいてください。



警告 ステートメント 1018 : 電源回路

感電および火災のリスクを軽減するため、装置を電気回路に接続するときに、配線が過負荷にならないように注意してください。



警告 ステートメント 1019 : 主要な切断装置

いつでも装置の電源を切断できるように、プラグおよびソケットにすぐ手が届く状態にしておいてください。



警告 ステートメント 1024 : アース導体

この装置は、接地させる必要があります。感電のリスクを軽減するため、絶対にアース導体を破損させたり、アース線が正しく取り付けられていない装置を稼働させたりしないでください。アースが適切かどうかははっきりしない場合には、電気検査機関または電気技術者に確認してください。



警告 ステートメント 1030 : 機器の設置

この装置の設置、交換、または保守は、訓練を受けた相応の資格のある人が行ってください。



警告 ステートメント 1073 : ユーザが保守可能な部品なし

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。



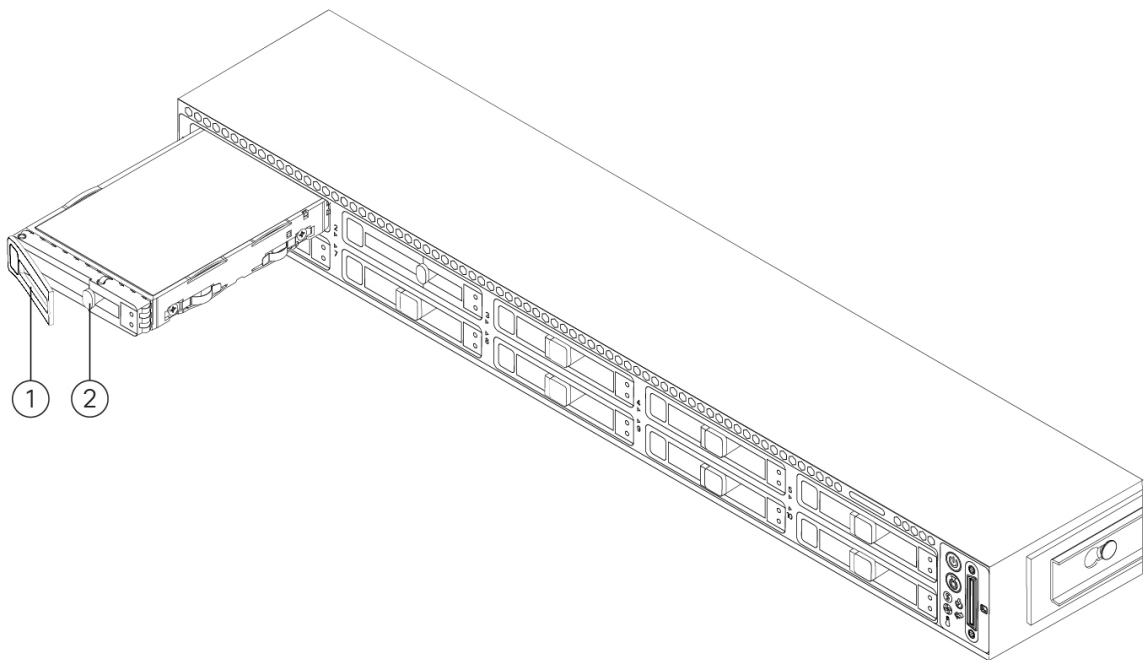
警告 ステートメント 1074 : 地域および国の電気規則への適合

感電または火災のリスクを軽減するため、機器は地域および国の電気規則に従って設置する必要があります。

ステップ 1 交換するドライブを取り外します。

- a) ドライブトレイの表面にある解除ボタンを押します。
- b) イジェクトレバーをつかんで開き、ドライブトレイをスロットから引き出します。

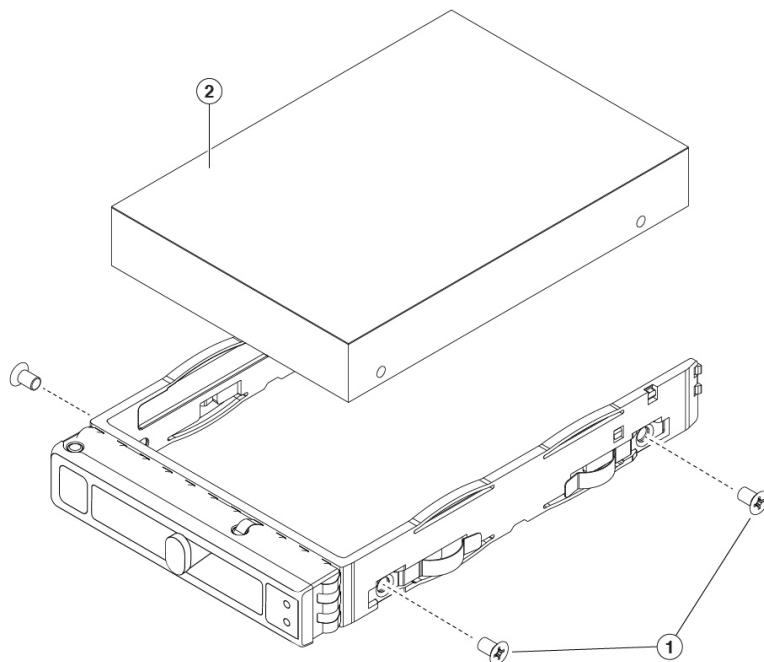
図 38: ドライブの取り外し



1	イジェクトハンドル	2	解除ボタン
----------	-----------	----------	-------

ステップ 2 ドライブをトレイに固定している 4 本のドライブトレイネジを外してから、ドライブをトレイから持ち上げます。

図 39: ドライブトレイの取り外し



1	ドライブトレイネジ (各側面に 2 個ずつ)	2	ドライブトレイから取り外したドライブ
---	------------------------	---	--------------------

ステップ 3 次のようにして、新しいドライブを取り付けます。

- 空のドライブトレイに新しいドライブを置き、4 本のドライブトレイネジを取り付けます。
- ドライブトレイのイジェクトレバーを開いた状態で、ドライブトレイを空のドライブベイに差し込みます。
- バックプレーンに触れるまでトレイをスロット内に押し込み、イジェクトレバーを閉じてドライブを所定の位置に固定します。

電源装置の取り外しと交換

シャーシに付属している 2 台の電源装置には冗長性があり、ホットスワップ可能となっています。片方がアクティブな電源装置、もう一方がスタンバイ電源装置 (1+1) です。



(注) S195 に付属している電源装置は 1 台ですが、冗長性を確保するためにもう 1 台追加できます。

また、シャーシはコールド冗長性もサポートしています。シャーシで使用される電力に応じて、1 台の電源装置でシステムにすべての電力をアクティブに供給し、もう 1 台の電源装置がスタンバイ状態になる場合があります。たとえば、電源装置 1 で消費電力が満たされる場合は、電源装置 2 がスタンバイ状態になります。



注意 電源装置を交換するときは、種類の異なる電源装置をシャーシ内に混在させないでください。両方の電源装置のワット数とシスコ PID が同じである必要があります。



Trouble 電源装置の電源が切断されるか誤動作が検出されて冗長性が失われると、電源装置のヘルスマニタリングによって通知されます。電源ケーブルを調べて、動作していることを確認してください。電源ケーブルが動作しているのにエラーが続く場合は、電源装置を交換します。

安全上の警告

次の警告を記録しておいてください。



警告 **ステートメント 1018** : 電源回路

感電および火災のリスクを軽減するため、装置を電気回路に接続するときに、配線が過負荷にならないように注意してください。



警告 **ステートメント 1019** : 主要な切断装置

いつでも装置の電源を切断できるように、プラグおよびソケットにすぐ手が届く状態にしておいてください。



警告 **ステートメント 1024** : アース導体

この装置は、接地させる必要があります。感電のリスクを軽減するため、絶対にアース導体を破損させたり、アース線が正しく取り付けられていない装置を稼働させたりしないでください。アースが適切かどうかははっきりしない場合には、電気検査機関または電気技術者に確認してください。



警告 **ステートメント 1030** : 機器の設置

この装置の設置、交換、または保守は、訓練を受けた相応の資格のある人が行ってください。



警告 **ステートメント 1073** : ユーザが保守可能な部品なし

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。



警告 ステートメント 1074 : 地域および国の電気規則への適合

感電または火災のリスクを軽減するため、機器は地域および国の電気規則に従って設置する必要があります。

ステップ 1 交換する電源装置を取り外すか、空のベイからブランクパネルを取り外します。

a) 次のいずれか 1 つの処理を実行します。

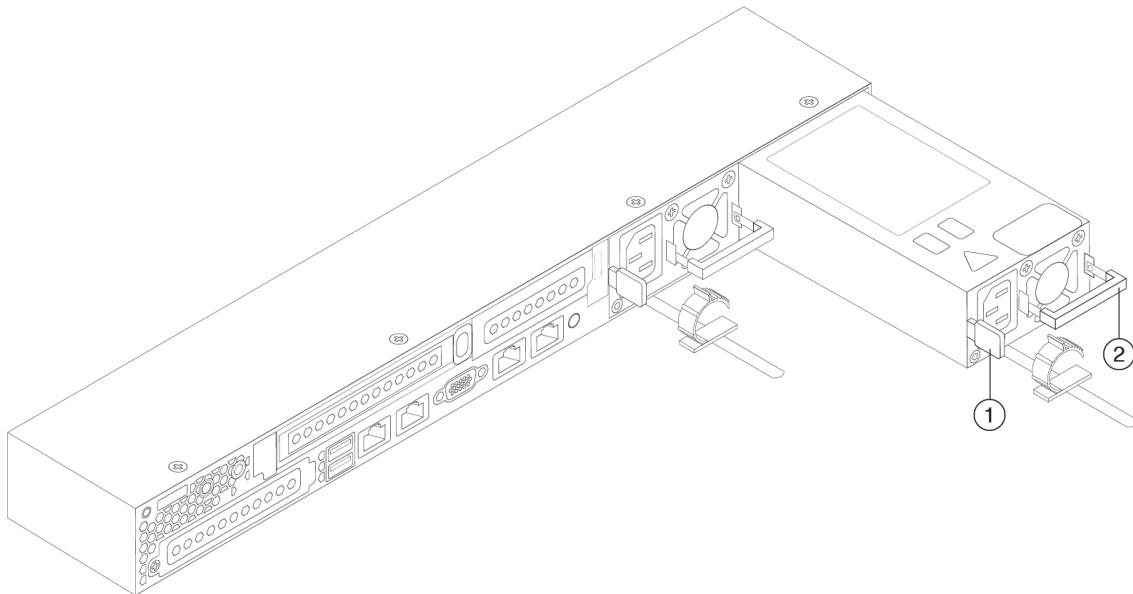
- シャーシの電源装置が 1 台である場合は、シャットダウンしてシャーシから電源を取り外します。手順については、[電源ボタンのシャットダウン \(39 ページ\)](#) を参照してください。
- シャーシの電源装置が 2 台である場合は、シャーシをシャットダウンする必要はありません。

b) 交換する電源装置から、電源コードを取り外します。

c) 電源装置のハンドルをつかみながら、リリースレバーをハンドルに向けてひねります。

d) 電源装置をベイから引き出します。

図 40: AC 電源装置の取り外しと交換



1	リリースレバー	2	ハンドル
----------	---------	----------	------

ステップ 2 次のようにして、新しい電源装置を取り付けます。

- a) 電源装置のハンドルをつかみ、空のベイに新しい電源装置を挿入します。
- b) リリースレバーがロックされるまで、電源装置をベイに押し込みます。
- c) 電源コードを新しい電源装置に接続します。

- d) シャーシをシャットダウンした場合は、電源ボタンを押して主電源モードに戻します。
-